

平成24年版

消防年報



秋田県総合防災訓練より

平成25年刊行

鹿角広域行政組合消防本部

平成24年度 秋田県総合防災訓練

平成24年8月30日、鹿角市で「秋田県総合防災訓練」が開催されました。鹿角市で行われたのは平成15年以来のことです。

この訓練は、災害対策基本法第48条及び秋田県と鹿角市の地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が協力して、地震及び火災等を想定した各種訓練を行い、災害予防と災害応急対策等の防災活動が迅速・的確に実施できるようにするとともに、防災意識の高揚を図ることを目的として総合的な訓練を行うものです。

24種類の訓練が108の機関・団体から約7千人が参加して鹿角市内の2つの会場で実施されました。

は し が き

1. この年報は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化のための資料とし、併せて火災の実態や消防、救急活動の現状等を広く一般に紹介して消防行政に対する理解を深めるとともに、住民の防火意識の高揚を図るため作成した。
2. 本書の内容中、予算関係及び人事関係については会計年度とし、その他のものは原則として暦年としたが、年月日を明示したものは、その時点での現況である。

平成25年4月

鹿角広域行政組合消防本部

目 次

鹿角広域行政組合圏の位置及び地勢	1
管内の面積・人口・世帯数	2
鹿角広域行政組合圏域図	3
消防の沿革	4 ～ 8
受章記録	9

【総 務】

歴代管理者・副管理者・消防長・署長一覧表	10
消防職員配置状況	10
鹿角広域行政組合消防本部組織図	11
消防本部事務分掌	12
消防署事務分掌	13
消防庁舎の概要	14
消防職員勤務年数表	15
消防職員階級別年齢表	15
消防吏員年齢別階級分布図	15
消防費分類表	16
消防職員免許所持状況	17
消防職員学校教育派遣状況	18

【施 設】

消防車等機械器具説示	19 ～ 22
消防水利状況	23
水防倉庫所在地／水防倉庫資材状況	24

【予 防】

防火対象物及び立入検査状況	25
危険物製造所等の立入検査状況	26
消防法令等による許可申請等の状況	26
建築同意状況	27
甲種防火管理者講習受講状況	28
甲種防火管理者再講習受講状況	28
防火対象物定期点検報告制度状況／住宅用火災警報器設置状況	28
過去5年間の火災原因	29
平成24年1月～12月月別火災状況	30
幼少年婦人防火クラブ加入団体／平成24年度活動状況	31

【救 急】

平成24年救急出動状況／救急小隊別出動内訳	32
バイスタンダーによる応急手当・救命処置数	32
月別救急活動状況調	33
月別事故種別救急出動調／事故種別救急出動件数の推移	34
年別・曜日別出動状況／事故種別・時間別・傷病者搬送状況	35
事故種別・年齢別・傷病者搬送状況／急病にかかわる疾病別搬送人員調べ	36
事故種別・地域別出動状況	37
救急蘇生指標／特定行為実施件数	38
救急救命士による救命処置領域件数	39
ドクターヘリ要請事案件数調べ／各種実習・研修等	39
消防職員の救急に関する各種教育プログラム受講状況	39

【警防・救助】

安全管理及び指揮体制	40
警防活動状況	41
各種訓練状況	42
救助体制	43
救助器具保有状況	43 ～ 44
救助隊の訓練実施状況	44
緊急消防援助隊出動履歴	45
緊急消防援助隊秋田県隊登録車両	45
緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練出動開催地	45

【通信】

平成24年気象状況／平成24年極値	46
過去10年間の気象の推移／気象観測開始からの気象極値	47
119番・専用回線着信状況／災害情報配信システム（メール配信）登録状況	48
消防緊急通信指令設備等の機器構成	49
無線機保有一覧	50

【消防団】

消防団装備・階級別実員	51
鹿角市消防団組織図	52
鹿角市消防団管轄区域	53
鹿角市消防団員階級別報酬及び諸手当	53
小坂町消防団組織図	54
小坂町消防団管轄区域	54
小坂町消防団員階級別報酬及び諸手当	54
消防本部と消防団との安全管理体制	55
秋田県消防操法（訓練）大会成績	56

【災害記録】

災害記録	57 ～ 62
------	---------

【広報消防鹿角】

平成24年秋季号／平成25年春季号

鹿角広域行政組合圏の位置及び地勢

この圏域は、東北三県（青森・秋田・岩手）のほぼ中央、秋田県の北東部、奥羽山脈を形成する鹿角盆地に位置し、南は八幡平、北は十和田湖の国立公園を控え、これに連なる緑の山々と清れつな河川に恵まれ、その自然の豊かさは「青垣山をめぐらす鹿角」の言葉で象徴されています。

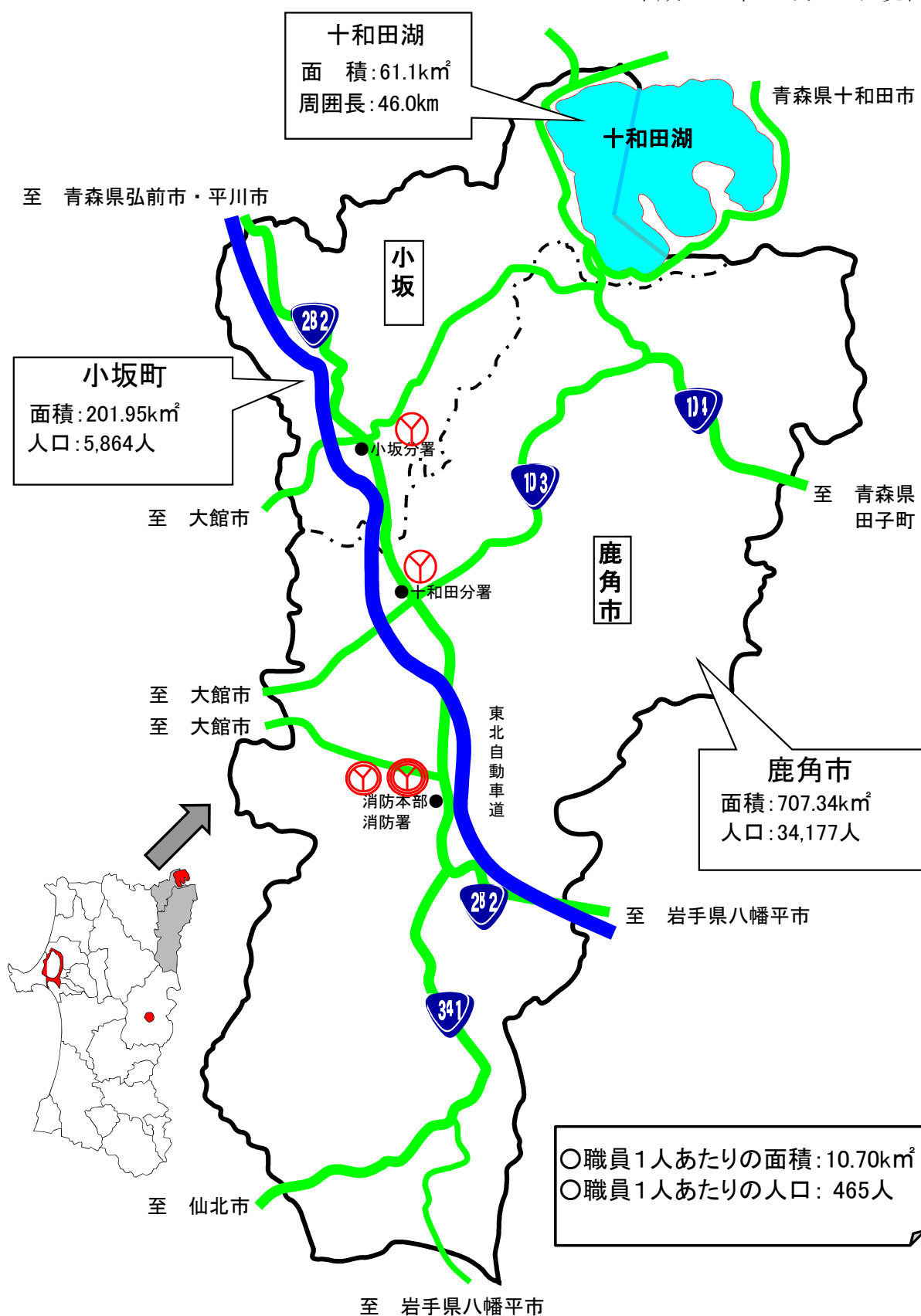
総面積は909.29km²で、秋田県の総面積（11,635km²）の7.8%にあたる広さをもっています。そして、鹿角盆地の中央部を貫流する米代川を本流として、小坂川、大湯川、熊沢川などの河川が流れ、河岸や台地に花輪、毛馬内などの市街地が開け、田園や畑地には大小の集落が点在しており、その周りは広大な山地で平坦地の少ない地勢となっています。

気候は盆地型に属し、年間を通じて昼夜間の気温の差が大きく、平均気温は10℃前後、降水量は年間約1,500mm程度であり、積雪は平坦地で約80cm、積雪期間は12月から3月までです。

国立公園十和田八幡平を擁し、圏内を東北縦貫自動車道が通り、「鹿角八幡平」、「十和田」、「小坂」の三つのインターチェンジにより、青森、八戸、弘前、盛岡などの各都市と1時間経済圏となっています。また、東北新幹線、あきた北空港と相まって首都圏との所要時間が大幅に短縮されたことから、自然をはじめとする豊富な資源を生かし、県内はもとより、北東北でも有数の観光地として21世紀での産業、観光面の発展が期待されています。

管内の面積・人口・世帯数

平成25年 4月 1日現在



鹿角広域行政組合圏域図



消防の沿革

年 月	事 項
明治23年 4月	鹿角郡内に消防組が創設される。
明治23年 5月	花輪町消防組創設される。（2部制で120名の組織）
明治26年以前	私立消防組である小坂鉦山消防隊創設される。 （明治44年当時2部制で消防夫は300名）
明治28年 9月	毛馬内消防組創設される。（2部制で81名の組織）
明治42年 9月	小坂村消防組創設される。（2部制で95名の組織）
昭和12年 4月	毛馬内消防組、消防ポンプ自動車（ダッジブラザーズ）1台購入配備する。 鹿角市消防団第12分団（旧毛馬内1分団）が記念保存。
昭和23年 7月	消防団令公布となる。警防団は改組し消防団となる。
昭和29年 7月	花輪町消防団常備部が設置される。 小坂町と七滝村が合併し、新小坂町が発足する。
昭和30年 4月	花輪町消防団常備部を廃止し、花輪町消防本部及び消防署が設置される。 小坂町消防団初代団長に小笠原省吾氏就任。
昭和34年 4月	小坂町消防団長に山内二郎氏就任。
昭和36年10月	花輪町消防庁舎を新築。（鹿角市消防団第1分団、旧花輪第1分団第2部 器具置き場）
昭和39年 4月	小坂町消防団に常備部が設置される。
昭和40年12月	花輪町消防署救急業務開始。
昭和45年 4月	十和田町消防団に常備部が設置される。
昭和46年 4月	小坂町消防団長に多田弘氏就任。
昭和47年 4月	花輪町、十和田町、尾去沢町、八幡平村の4箇町村が合併し鹿角市が誕生。 鹿角市消防本部及び消防署を設置し発足する。 鹿角市消防長事務取扱に鹿角市長阿部新氏就任。 消防団組織を当分の間、「鹿角市連合消防団」として発足する。 （4団、花輪、十和田、尾去沢、八幡平、39箇分団、定員1,132名） 鹿角市連合消防団長に大里文雄氏就任。小坂町消防団長に山崎文夫氏就任。
昭和48年 4月	鹿角市消防長に石木田芳郎氏就任。
昭和49年 5月	鹿角市花輪字高井田64番地2に消防本部・署庁舎新築移転、業務開始。
昭和49年11月	ポンプ車1台（日本損害保険協会）が寄贈され、消防署に配備する。
昭和50年 5月	鹿角市十和田毛馬内字上陣場74番地1に消防署十和田分署庁舎新築移転、 業務開始。
昭和50年 8月	第28回全県消防大会を鹿角市で開催。
昭和50年 9月	鹿角市消防本部救助隊を設置する。
昭和50年12月	救急車（2B型）1台（秋田県農業共済組合）が寄贈され、十和田分署へ 配備する。
昭和51年 9月	救急車（2B型）1台（財団法人日本消防協会）が寄贈され、消防署へ配 備する。 秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
昭和54年 9月	鹿角市連合消防団長に関富治氏就任。 鹿角市連合消防団（17箇分団39部制）が統合し、鹿角市消防団として 発足する。（消防団員定員 1,150人）
昭和55年 2月	消防署八幡平分駐所（第7分団、旧八幡平第1分団第1部番屋、一部改築） を設置、職員（機関員）を派遣し、業務開始する。
昭和56年 4月	鹿角市消防長に泉谷金悦氏就任。
昭和56年10月	救急車1台（財団法人日本消防協会）が寄贈され、消防署に配備する。

年 月	事 項
昭和57年 4月	鹿角市消防長に奈良喜三郎氏就任。
昭和57年 9月	鹿角市少年婦人防火委員会発足。
昭和58年10月	東北自動車道鹿角八幡平 I C 開通。
昭和58年10月	盛岡地区広域行政事務組合と東北自動車道消防相互応援協定を締結。
昭和59年 1月	救助工作車を購入し、消防署に配備する。
昭和59年 5月	鹿角市消防長に山崎寛二氏就任。
昭和59年 7月	第 3 7 回秋田県消防大会を鹿角市で開催。
昭和59年 9月	東北自動車道十和田 I C 開通。
昭和60年 2月	化学車を購入し、消防署に配備する。
昭和60年 5月	全国消防長会法制委員会を鹿角市で開催。
昭和60年 8月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
昭和61年 1月	鹿角市・小坂町が救急に関する覚書締結。
昭和61年 5月	弘前地区消防事務組合・小坂町と東北自動車道消防相互応援協定を締結。
昭和61年 6月	東日本高速道路(株)(旧日本道路公団)と消防無線設備に関する確認書を締結。
昭和61年 7月	東日本高速道路(株)(旧日本道路公団)と東北自動車道安代 I C ～碓ヶ関 I C の覚書を締結。東北自動車道の全線開通に先駆けて坂梨トンネルの総合防災訓練を実施する。
昭和62年 6月	鹿角市消防団再編成計画策定される。
昭和62年 7月	東北自動車道全線開通後、弘前地区消防事務組合・小坂町と坂梨トンネル夜間総合防災訓練を実施する。
昭和63年 2月	鹿角市緊急通報システム業務開始。(一人暮らし老人等世帯)
昭和63年 7月	鹿角市消防長に阿部貫雄氏就任。
昭和63年10月	第 1 1 回全国消防操法大会に鹿角市消防団第 1 4 分団(旧十和田錦木第 1 分団第 3 部)が出場し、準優勝する。
平成元年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員 1, 0 3 0 人。
平成元年 9月	各防災関係機関及び医療機関による集団救急災害対策訓練を実施する。財団法人全国消防協会東北地区支部予防広報講習を鹿角市で開催。
平成元年10月	鹿角市・小坂町の東北自動車道消防相互応援協定を締結。 鹿角市・小坂町の消防相互応援協定を締結。
平成 2年 4月	幼年消防クラブが結成、鹿角市幼少年婦人防火委員会となる。 鹿角市消防団第 1 分団(旧花輪第 1 分団)の部を統合し、4 部から 2 部となる。(消防団再編成 1 7 分団 3 8 部)
平成 2年10月	東北自動車道小坂 I C 開通。小坂町消防団常備部で救急業務開始。
平成 3年 2月	救急車(2 B 型)4 W D 1 台(秋田県経済連農業協同組合連合会)が寄贈され、消防署に配備する。
平成 3年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員 9 3 0 人。
平成 3年 4月	鹿角市消防長に杉澤誠志郎氏就任。
平成 3年 9月	小型動力ポンプ付積載車 1 台(財団法人日本消防協会)が寄贈され、鹿角市消防団第 8 分団(旧八幡平第 2 分団第 2 部、長牛)に配備する。
平成 3年10月	平成 3 年度鹿角市総合防災訓練を花輪地区大町で実施する。
平成 4年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員 8 9 2 人。 鹿角市消防長に阿部菊美氏就任。
平成 5年 1月	消防出初式を花輪地区大町に会場を変更して開催。

年 月	事 項
平成 5年 7月	第 4 6 回秋田県消防大会を鹿角市で開催。
平成 5年 8月	湯瀬温泉地区自主防災組織が八幡平湯瀬で総合防災訓練を実施する。
平成 6年 4月	鹿角市消防長に大里博志氏就任。
平成 6年 6月	鹿角市と小坂町との一部事務組合に消防・救急業務を加えた広域行政組合が発足、鹿角広域行政組合消防本部として消防職員定数 9 8 名で平成 6 年 6 月 1 日より業務開始する。 鹿角広域行政組合消防救助隊を設置する。 青森県十和田地域消防事務組合と消防相互応援協定を締結。 鹿角広域行政組合消防長に大里博志氏就任。
平成 6年 9月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
平成 6年11月	小坂町総合防災訓練を実施。
平成 7年 4月	鹿角広域行政組合消防長に佐藤一彦氏就任。
平成 7年 6月	財団法人日本防火協会と財団法人自治総合センターから、視聴覚資機材を搭載した『宝くじ号・防火広報車』1 台寄贈され、消防署に配備する。
平成 7年 8月	平成 7 年度鹿角市総合防災訓練を十和田毛馬内地区で実施する。
平成 7年 9月	鹿角市消防団長に菅原徳弥氏就任。
平成 8年 1月	秋田県緊急消防援助隊発足。秋田県消火部隊・化学消火部隊として登録。
平成 8年 8月	平成 8 年度鹿角市総合防災訓練を尾去沢地区で実施する。
平成 8年11月	救急車（2 B 型）4 WD 1 台を購入し、十和田分署に配備する。
平成 9年 3月	救急車（2 B 型）4 WD 1 台（秋田県経済連農業協同組合連合会）が寄贈され、消防署に配備する。
平成 9年 4月	鹿角広域行政組合消防長に大里勲氏就任。
平成 9年11月	消防署通信指令台を更新する。
平成10年 3月	鹿角郡小坂町小坂字中前田 6 8 番地 1 に消防署小坂分署新築移転し、業務を開始する。
平成10年 8月	平成 1 0 年度鹿角市総合防災訓練を八幡平地区で実施する。
平成10年12月	小坂町消防団長に多田勝一氏就任。
平成11年 4月	消防職員の勤務体制を 2 部制から 3 部制に移行する。
平成11年 4月	高規格救急車を配置し、救急救命士が搭乗し運用を開始する。
平成11年 4月	鹿角市消防団第 2 分団（旧花輪 2 分団）が消防団再編成により分離し、1 部制から 2 部制に再編する。
平成11年 5月	地震災害対策訓練を実施する。
平成11年 8月	平成 1 1 年度鹿角市総合防災訓練を大湯地区で実施する。（秋田県消防航空隊参加）
平成12年 4月	鹿角広域行政組合消防長に児玉弘志氏就任。
平成12年 8月	平成 1 2 年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が秋田市新屋旧空港跡地で開催され、秋田県消火部隊として訓練参加する。
平成12年10月	小坂町総合防災訓練を実施する。
平成13年 3月	小坂町消防団長に本田隆爾氏就任。
平成13年10月	消防署十和田分署のポンプ車を水槽付消防ポンプ自動車（4 WD）へ更新配備する。 消防署小坂分署に高規格救急車を配備し運用を開始する。また、それまで運用していた救急車（2 B 型）4 WD 1 台を秋田県消防学校へ寄贈する。
平成14年 3月	秋田県緊急消防援助隊部隊に救助隊を追加登録する。
平成14年 7月	第 5 5 回秋田県消防大会を鹿角市で開催予定であったが、大雨の為中止となる。

年 月	事 項
平成15年 2月	消防署の救助工作車を更新配備する。
平成15年 3月	財団法人日本消防協会より『消防団指揮広報車』を寄贈され、鹿角市消防団本部へ配備する。
平成15年 4月	鹿角市消防団長に米沢将之助氏就任。
平成15年 8月	秋田県消防操法大会ポンプ車操法の部において、小坂町消防団第4分団万谷班が優勝。
平成15年 9月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
平成16年 4月	鹿角広域行政組合消防長に齊藤寛樹氏就任。
平成16年 6月	消防署広報車を更新配備する。
平成17年 1月	消防署ポンプ1号車を水槽付消防ポンプ自動車（CD-II）へ更新配備。
平成17年 4月	鹿角市消防団十和田地区毛馬内、錦木、大湯の各分団を十和田第1分団から第6分団へ名称を改訂する。
平成18年 4月	国道282号線錦木バイパス開通に伴い、火災・救急の出場区分の見直しをする。 消防本部消防行財政改革により、消防署八幡平分駐所を消防署へ統合する。 「災害情報配信システム」によるメール配信サービスの運用を開始する。
平成19年 2月	消防署十和田分署の救急車（2B型）を高規格救急車（4WD）へ更新配備する。
平成19年 4月	鹿角広域行政組合消防長に田中孝夫氏就任。 消防長の階級を消防組織法の基準に基づき改正。 鹿角市消防団長に柳澤誠氏就任。 消防団規則改正。鹿角市消防団名称を一連番号に変更。 （鹿角市消防団第1分団～第17分団） 鹿角市消防団「市民を守る魅力ある消防団づくり」基本計画を策定。 秋田県初となる機能別団員の導入、協力事業所として3社が登録される。 鹿角市初の女性消防団員が誕生する。
平成19年 8月	消防署十和田分署に共動車両として、鹿角市消防団第12分団第1部（旧十和田第1分団第1部）の積載車を配備する。
平成19年10月	消防署の指令車を指揮車へ更新配備する。
平成20年 1月	消防署の救急2号車（2B型）を高規格救急車へ更新配備する。これにより、鹿角広域管内の救急車が全車両、高規格救急車になる。
平成20年 1月	消防署の化学車を災害対応特殊化学消防ポンプ自動車として更新配備する。 （圧縮空気泡消火装置：CAFS搭載型）
平成20年 3月	鹿角市消防団が団員確保策として、機能別団員の導入、女性消防団員の誕生などが評価され、消防庁長官表彰「消防団等地域活動表彰」を受賞。
平成20年 3月	「秋田県消防広域化推進計画」が策定され、鹿角市、小坂町は大館市、北秋田市、上小阿仁村で構成されるブロックを提示され、連絡協議会が発足する。
平成20年 4月	女性消防団員によるカラーガード隊発足。
平成20年 6月	平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震により、鹿角広域行政組合消防本部初となる緊急消防援助隊（救助隊1隊、後方支援隊1隊）が宮城県栗原市へ出動。現場活動に従事し、行方不明者1名を発見する。
平成20年 7月	第66回鹿角支部消防訓練大会で鹿角市女性消防団員がカラーガード隊やポンプ車の機関員として揚水訓練を披露する。また、腕用ポンプでの揚水を披露する。

年 月	事 項
平成20年 7月	岩手県沿岸北部を震源とする地震（7月24日発生）により、緊急消防援助隊（救助隊1隊、後方支援隊1隊）が岩手県へ出動。活動無し。
平成20年 7月	鹿角市消防団第12分団第1部に、県内最古の消防車、通称「ダッチ」の展示スペースを設置。
平成20年 8月	消防署十和田分署の広報車を更新配備する。
平成20年12月	鹿角市女性消防団が地域づくりに貢献したことが評価され、秋田県鹿角地域振興局長から「ふるさと鹿角・小坂いきいき地域づくり活動」特別賞を受賞する。
平成21年 2月	鹿角市消防団機能別消防団の(株)柳沢建設が消防庁長官から「消防団等地域活動表彰」を受賞する。
平成21年 4月	鹿角市消防団長に黒澤文男氏就任。 小坂町消防団長に成田俊昭氏就任。 鹿角広域行政組合特別救助隊を設置。
平成21年 8月	消防署小坂分署の広報車を更新配備する。
平成21年 8月	鹿角市消防団略帽からアポロキャップへ更新する。
平成21年 8月	小坂町消防団車両未配備の班へ軽積載車を配備する。 （苦竹・余路米班を除く）
平成21年 9月	小坂町消防団員数を202人から190人に定員を改正。
平成21年11月	鹿角市消防団第2分団第1部（下川原）の器具置場を新築移転する。多目的消防拠点施設として水防資材を備え、手引きポンプ、腕用ポンプを展示する。
平成21年12月	鹿角市消防団救急救助支援隊発足。（第7分団、第16分団）
平成22年 3月	携帯電話、IP電話の位置情報通知システムの運用を開始する。
平成22年 4月	鹿角広域行政組合消防長に奈良俊幸氏就任。
平成22年 9月	鹿角市消防団第2分団第2部（用野目）へ消防団救助機材搭載型車両を配備する。
平成22年11月	小坂町で消防団協力事業所の表示証を交付する。
平成23年 1月	鹿角市で消防団協力事業所の表示証を交付する。
平成23年 2月	消防署小坂分署のポンプ車を災害対応水槽付消防ポンプ自動車に更新配備する。（圧縮空気泡消火装置：CAFS搭載型）
平成23年 2月	消防署小坂分署に共動車両として、小坂町消防団第1分団小坂班の積載車を配備する。
平成23年 3月	平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により緊急消防援助隊（救助隊1隊、消火隊1隊、救急隊1隊、後方支援隊1隊）が岩手県宮古市田老地区及び、山田町へ出動。現場活動に従事する。
平成23年 3月	消防署に全国共済農業協同組合連合会から、高規格救急車が寄贈され配備する。
平成23年 4月	鹿角広域行政組合消防長に沢田正氏就任。 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により緊急消防援助隊（救急隊1隊、後方支援隊1隊）が宮城県本吉郡南三陸町及び、登米市へ出動。現場活動に従事する。
平成23年 6月	小坂町消防団略帽からアポロキャップへ更新する。
平成24年 4月	小坂町消防団員数を190名から170名に定員を改正。
平成24年 4月	鹿角広域行政組合消防長に熊谷純二氏就任。
平成24年 8月	平成24年度秋田県総合防災訓練が鹿角市を会場に開催される。
平成24年12月	消防署に資機材搬送車を新規導入する。

受 章 記 録

※平成10年以降を記載した

《鹿角市》

平成11年11月	勲七等青色桐葉章	元副団長	大里克三氏
平成12年4月	勲六等単光旭日章	元消防司令	廣林忠好氏
平成13年4月	勲六等瑞宝章受章	元副団長	田原四郎氏
平成15年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令	高橋六郎氏
平成16年4月	瑞宝単光章受章	元消防司令	高橋七郎氏
平成16年10月	瑞宝単光章受章	元消防司令補	藤井喜久治氏
平成17年4月	瑞宝双光章受章	元団長	菅原徳弥氏
平成18年4月	瑞宝単光章受章	元消防司令	星川俊一氏
平成18年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	田口信一氏
平成19年4月	瑞宝単光章受章	元消防司令	山口喜八郎氏
平成19年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令	工藤菊良氏
平成21年6月	瑞宝単光章受章	元副分団長	加藤悦郎氏
平成21年11月	瑞宝単光章受章	元団長	米沢將之助氏
平成22年4月	瑞宝単光章受章	元副団長	伊藤勇氏
平成22年2月	瑞宝単光章受章	元分団長	糠塚誠造氏
平成22年3月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	海沼忠氏
平成23年6月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	奥村多喜男氏
平成24年1月	瑞宝単光章受章	元副分団長	菅生省三氏
平成24年1月	瑞宝単光章受章	元消防監	齊藤寛樹氏
平成25年4月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	金澤秀美氏

《小坂町》

平成11年2月	勲五等双光旭日章	元団長	山崎文夫氏
平成13年11月	勲六等瑞宝章受章	元分団長	工藤亮氏
平成17年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令	和田眞氏
平成20年4月	瑞宝単光章受章	元分団長	木村甚衛門氏
平成21年11月	瑞宝単光章受章	元分団長	小笠原吉孝氏
平成22年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	川口正勝氏
平成22年11月	瑞宝単光章受章	元分団長	清藤貞夫氏
平成23年11月	瑞宝単光章受章	元団長	本田隆爾

総

務



平成24年8月30日、鹿角市で「秋田県総合防災訓練」が開催されました。鹿角市で行われたのは平成15年以来のことです。

この訓練は、災害対策基本法第48条及び秋田県と鹿角市の地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が協力して、地震及び火災等を想定した各種訓練を行い、災害予防と災害応急対策等の防災活動が迅速・的確に実施できるようにするとともに、防災意識の高揚を図ることを目的として総合的な訓練を行うものです。

24種類の訓練が108の機関・団体から約7千人が参加して鹿角市内の2つの会場で実施されました。

写真は訓練視察中の秋田県知事と鹿角市長です。

歴代管理者・副管理者・消防長・消防署長一覧表 平成25年 4月 1日現在

区分	歴代	氏名	就任	退任	在職期間	備考
管理者	初代	杉江宗祐	H 6. 6. 1	H12. 4. 25	5年10月	
	2代	佐藤洋輔	H12. 4. 25	H17. 6. 6	5年 1月	
	3代	児玉 一	H17. 7. 3	(現在)		
副管理者	初代	阿部節雄	H 6. 6. 10	H 8. 4. 24	1年10月	鹿角市助役
		川口 博	H 6. 6. 1	H21. 3. 31	14年9月	小坂町長
	2代	佐藤秀朗	H 8. 5. 15	H12. 5. 2	3年11月	鹿角市助役
	3代	三村陽一	H12. 5. 23	H16. 5. 16	3年11月	鹿角市助役
	4代	児玉 一	H16. 5. 28	H17. 6. 23	1年	鹿角市助役
	5代	松浦春男	H17. 8. 26	H19. 3. 31	1年 7月	鹿角市助役
	6代	大野佑司	H19. 4. 24	H21. 6. 30	2年 1月	鹿角市副市長
	7代	細越 満	H21. 4. 30	(現在)		小坂町長
	8代	阿部一弘	H21. 8. 5	(現在)		鹿角市副市長
消防長	初代	大里博志	H 6. 6. 1	H 7. 3. 31	0年10月	
	2代	佐藤一彦	H 7. 4. 1	H 9. 3. 31	2年	
	3代	大里 勲	H 9. 4. 1	H12. 3. 31	3年	
	4代	児玉弘志	H12. 4. 1	H16. 3. 31	4年	
	5代	齊藤寛樹	H16. 4. 1	H19. 3. 31	3年	
	6代	田中孝夫	H19. 4. 1	H22. 3. 31	3年	
	7代	奈良俊幸	H22. 4. 1	H23. 3. 31	1年	
	8代	沢田 正	H23. 4. 1	H24. 3. 31	1年	
	9代	熊谷純二	H24. 4. 1	(現在)		
消防署長	初代	大里 勲	H 6. 6. 1	H 9. 3. 31	2年10月	
	2代	田口信一	H 9. 4. 1	H12. 3. 31	3年	
	3代	奥村多喜男	H12. 4. 1	H13. 3. 31	1年	
	4代	海沼 忠	H13. 4. 1	H14. 3. 31	1年	
	5代	田中孝夫	H14. 4. 1	H16. 5. 19	2年 1月	
	6代	金澤秀美	H16. 5. 20	H19. 3. 31	2年11月	
	7代	畠山 裕	H19. 4. 1	H22. 3. 31	3年	
	8代	工藤清一	H22. 4. 1	H23. 3. 31	1年	
	9代	小舘照男	H23. 4. 1	H24. 3. 31	1年	
	10代	柳沢政雄	H24. 4. 1	H25. 3. 31	1年	
	11代	相馬朗	H25. 4. 1	(現在)		

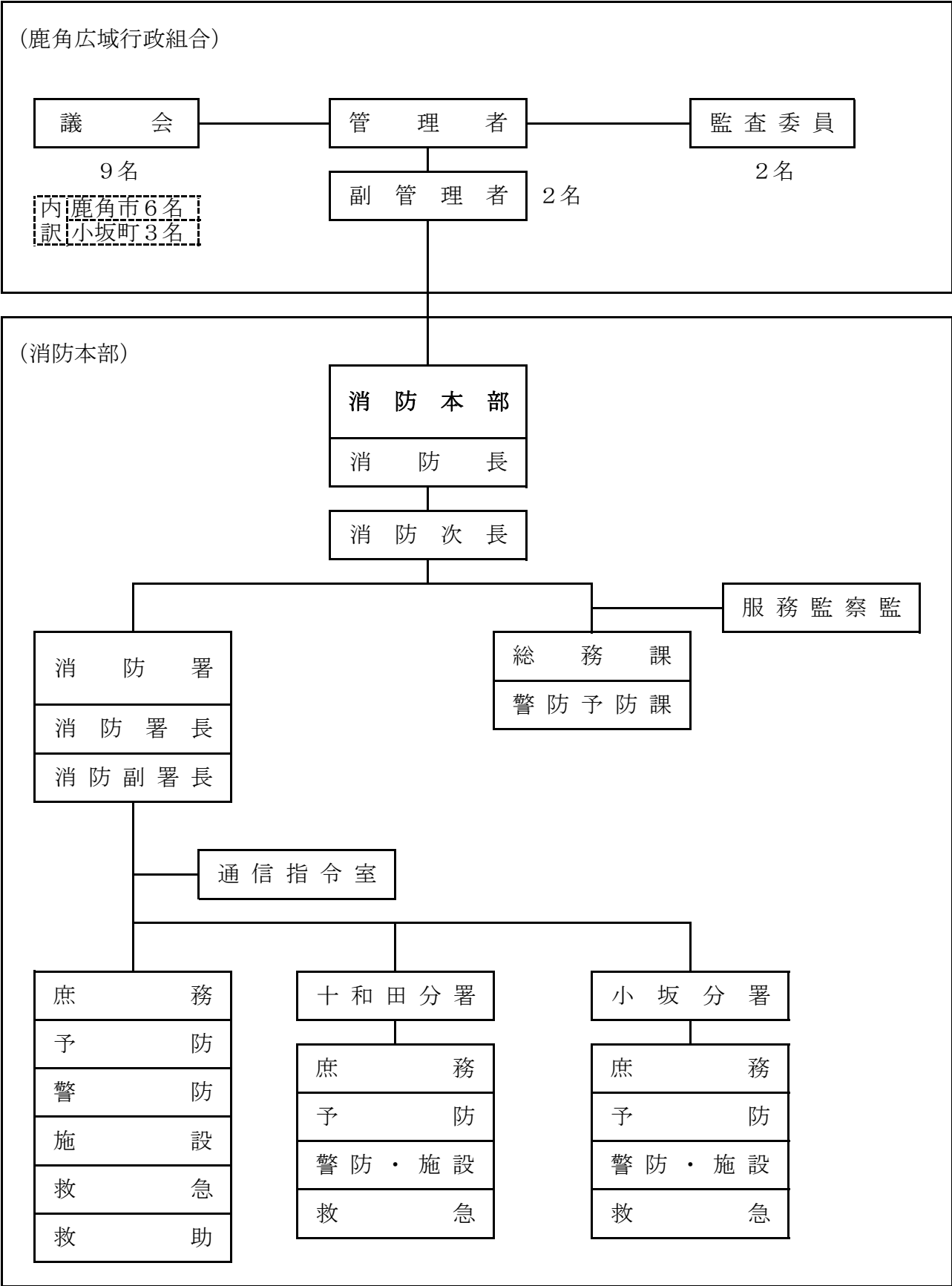
消防職員配置状況

平成25年 4月 1日現在

階級等 所属別	計	消 防 吏 員						事 務 職 員			
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	課長	主幹	副主幹	主査
消 防 本 部	10	1	3	4	1						1
消 防 署	40		5	12	10	6	7				
十和田分署	18		1	6	8	2	1				
小坂分署	18		1	7	7	1	2				
合 計	86	1	10	29	26	9	10				1

鹿角広域行政組合消防本部組織図

平成25年 4月 1日現在



消防本部事務分掌

総 務 課	(1) 庶務に関する事。 - ア 組織及び運営に関する事。 - イ 消防事務の企画総務調整に関する事。 - ウ 庁舎及び消防車両の集中管理に関する事。 - エ 消防本部の庶務に関する事。 (2) 消防職員の任命、昇任、昇格、賞罰その他身分に関する事。 (3) 表彰に関する事。 (4) 条例規則に関する事。 (5) 行事及び会議に関する事。 (6) 文書に関する事。 - ア 公印の保管に関する事。 - イ 文書の收受、発送及び完結文書保存に関する事。 - ウ 図書及び消防資料の整理保存に関する事。 (7) 消防予算、決算及び経理に関する事。 (8) 財産の取得及び処分に関する事。 (9) 契約及び物品の調達に関する事。 (10) 職員被服に関する事。 (11) 消防職員の公務災害に関する事。 (12) 消防職員委員会に関する事。 (13) 消防職員の研修実施に関する事。 (14) 消防職員の福利厚生に関する事。 (15) 他の課に属さない事。
警 防 予 防 課	(1) 警防に関する事。 - ア 火災警報の発令及び解除に関する事。 - イ 消防相互応援に関する事。 - ウ 警戒区域の設定に関する事。 - エ 消防職員の訓練等に関する事。 - オ 消防統計及び消防情報に関する事。 - カ 消防施設及び消防水利に関する事。 - キ 消防施設及び設備の整備計画に関する事。 - ク 救急に関する事。 - ケ 救助に関する事。 - コ 水防に関する事。 - サ 行方不明者捜索の相互連絡に関する事。 - シ 消防通信に関する事。 - ス 消防団の訓練等に関する事。 - セ 消防計画に関する事。 - ソ 緊急消防援助隊に関する事。 (2) 予防に関する事。 - ア 防火推進団体の育成及び指導に関する事。 - イ 防火思想の普及、防火広報に関する事。 - ウ 火災損害調査及び火災原因に関する事。 - エ 防火管理者及び防火対象物の指導に関する事。 - オ 火災予防条例等の届出及び違反処理に関する事。 - カ 火災予防条例、規則等の制定改廃に関する事。 (3) 設備、危険物に関する事。 - ア 建築同意事務に関する事。 - イ 消防用設備等及び消防設備士の指導等に関する事。 - ウ 危険物施設等の許認可に関する事。 - エ 危険物等に係る条例、規則等の制定改廃に関する事。 - オ 液化石油ガス等販売事業及び火薬庫設置に関する事。 - カ 液化石油ガス等の設備工事等の届出受理に関する事。 (4) その他警防予防課に関する事。

消防署事務分掌

庶務	(1) 署の庶務に関すること。 (2) 公印の保管に関すること。 (3) 署員の服務規律に関すること。 (4) 消防署の予算に関すること。
警防	(1) 警防の実施計画に関すること。 (2) 火災その他の災害の防御及び調査に関すること。 (3) 署員の訓練実施等に関すること。 (4) 非常警備に関すること。 (5) 消防水利施設の調査及び保守管理に関すること。 (6) 水防訓練実施に関すること。 (7) 消防団員の訓練指導等に関すること。
予防	(1) 予防査察及び予防広報に関すること。 (2) 火災の原因調査に関すること。 (3) 危険物に関すること。 (4) 防火対象物の消防計画に関すること。 (5) 鹿角広域行政組合火災予防条例に基づく届出及び指導に関すること。
施設	(1) 消防機械器具の整備及び保守管理に関すること。 (2) 消防機械器具の部品及び燃料等の調達、管理に関すること。 (3) 機械器具操作技術の指導に関すること。
救急	(1) 救急業務に関すること。 (2) その他救急全般に関すること。
救助	(1) 救助及び行方不明者捜索業務に関すること。 (2) 救助隊に関すること。 (3) 救助の統計及び報告に関すること。 (4) 緊急消防援助隊の編成、訓練及び出動に関すること。
通信指令室	(1) 消防通信の確保及び統制に関すること。 (2) 通信施設、機器の保全に関すること。 (3) 気象情報、災害情報及び救急医療情報の収集並びに連絡に関すること。 (4) 火災警報に関すること。 (5) 消防通信の統計及び報告に関すること。 (6) 消防通信技術の調査研究に関すること。 (7) その他通信指令の分掌として適当とする事項に関すること。

消防庁舎の概要

消防本部・署庁舎



所在地：鹿角市花輪字高井田64番地2

敷地面積：2,589.00㎡

建物構造：鉄筋コンクリート2階建

延べ面積：1,023.74㎡

建築年月日：昭和49年 5月 8日

小坂分署庁舎



所在地：鹿角郡小坂町小坂字中前田68番地1

建物構造：鉄筋コンクリート2階建

敷地面積：3,700.29㎡

延べ面積： 935.57㎡

建築年月日：平成10年 2月28日

十和田分署庁舎



所在地：鹿角市十和田毛馬内字上陣場74番地1

建物構造：鉄筋コンクリート2階建

敷地面積：1,287.72㎡

延べ面積： 363.89㎡

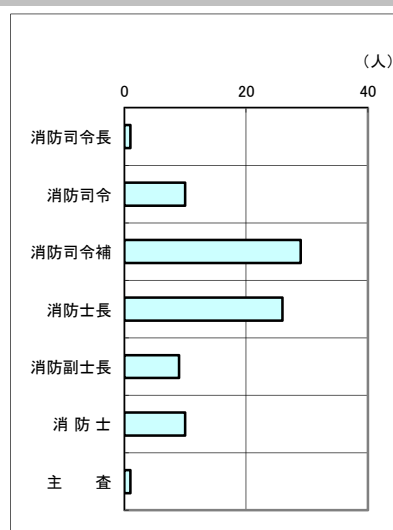
建築年月日：昭和50年 3月25日

昭和63年 3月31日増築

消防職員勤務年数表

平成25年 4月 1日現在

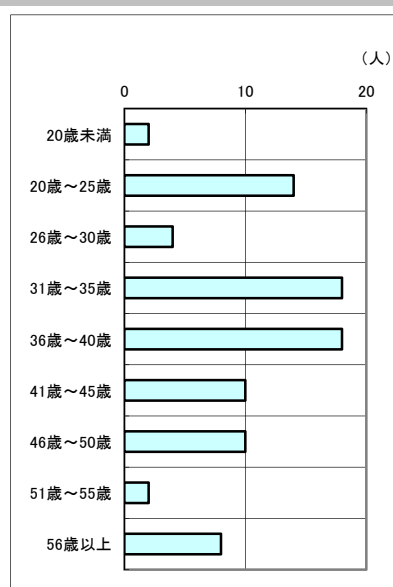
階級等 年数	計	消 防 吏 員						事務職員 主 査
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
1年未満	3						3	
1年～ 5年	15	1				6	7	1
6年～10年	5				2	3		
11年～15年	10				10			
16年～20年	26		1	11	14			
21年～25年	11			11				
26年～30年	9		2	7				
31年以上	7		7					
計	86	1	10	29	26	9	10	1



消防職員階級別年齢表

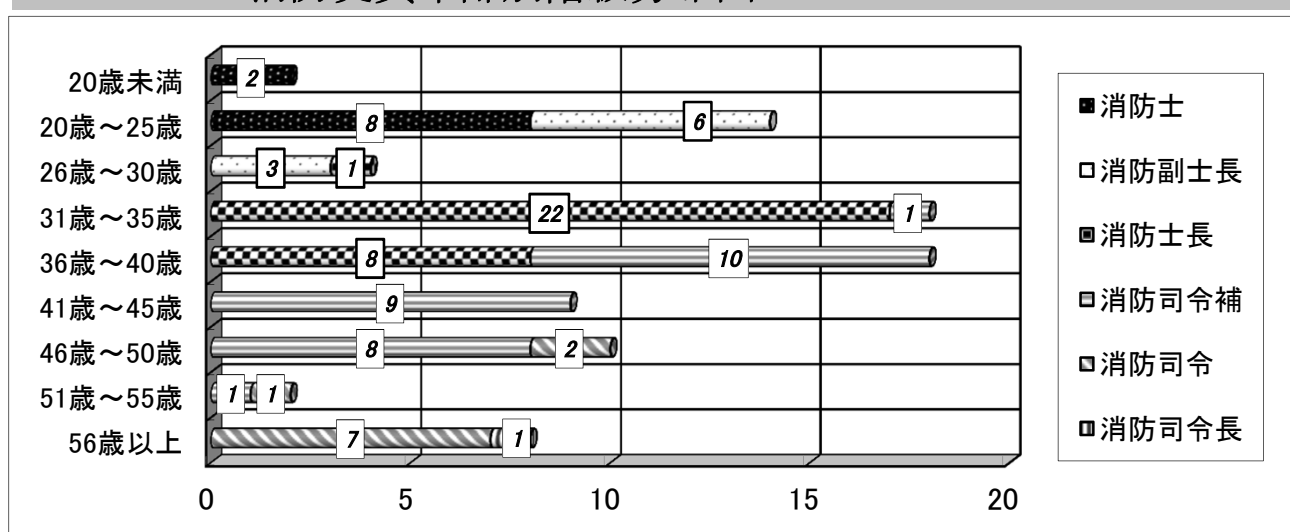
平成25年 4月 1日現在

階級等 年齢	計	消 防 吏 員						事務職員 主 査
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
20歳未満	2						2	
20歳～25歳	14					6	8	
26歳～30歳	4				1	3		
31歳～35歳	18			1	17			
36歳～40歳	18			10	8			
41歳～45歳	10			9				1
46歳～50歳	10		2	8				
51歳～55歳	2		1	1				
56歳以上	8	1	7					
計	86	1	10	29	26	9	10	1
平均年齢	40.25	59.2	55.4	43.2	34.6	25.1	21.7	42.6



消防吏員年齢別階級分布図

平成25年 4月 1日現在



消防費分類表

平成25年 4月 1日現在

(単位：千円)

款 項 目	節	当初予算	
		25年度	24年度
3 消防費		926,948	716,066
1 消防費		926,948	716,066
1 常備消防費		716,169	683,102
	1給料	286,173	277,091
	2職員手当等	273,278	257,874
	4共済費	97,497	89,724
	8報償費	8	8
	9旅費	4,008	3,085
	11需用費	22,968	23,026
	12役務費	6,180	6,220
	13委託料	5,785	5,780
	14使用料及び賃借料	4,243	4,211
	16原材料費	100	100
	18備品購入費	653	1,816
	19負担金、補助及び交付金	14,964	13,458
	27公課費	312	709
2 消防施設費		210,779	32,964
	9旅費	7	0
	12役務費	34	87
	13委託料	52,164	15,504
	14使用料及び賃借料	12	0
	15工事請負費	158,260	4,174
	16原材料費	0	0
	18備品購入費	0	13,129
	22補償、補てん及び賠償金	302	0
	27公課費	0	70

消防職員免許所持状況

平成25年4月 1日現在

種 別		階級等	計	消 防 吏 員						事務職員
				消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
自動車	大型特殊		11		4	5	1	1		
	けん引		5		2	2	1			
	大型一種		75		10	29	26	8	2	
	普通一種		86	1	10	29	26	9	10	1
	自動二輪		22		5	6	10	1		
整備	可搬ポンプ		5			4	1			
救急関係	救急救命士		18		2	9	4	2	1	
	救急科(救急Ⅱ課程)資格		65		10	29	23	3		
	救急Ⅰ課程資格		0							
救助関係	移動式クレーン技能		66		10	26	26	4		
	玉掛技能		68		10	28	24	4	2	
	ガス溶接技能		67		9	27	26	4	1	
	高所作業主任者(足場組立)		19		2	12	5			
	有機溶剤作業主任者		57		3	28	21	5		
	特定化学物質作業主任者		56		4	26	21	5		
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		62		6	28	24	4		
	巻上げ機運転業務に係る特別講習		23			9	12	2		
	チェーンソー取扱技能		26		2	9	11	4		
予防関係	潜水士		6			3	2	1		
	防火対象物点検資格者		1			1				
	予防技術資格者	防火査察	16		2	12	2			
		消防用設備等	6		2	4				
		危険物	10		2	6	2			
	消防設備士乙種		16		2	5	8	1		
	危険物取扱者甲種		2			1	1			
通信関係	危険物取扱者乙種4類		76		9	27	26	7	7	
	第1級陸上特殊無線技士		1			1				
	第2級陸上特殊無線技士		72		2	28	26	9	7	
その他	アマチュア無線技士		22		3	15	1	2	1	
	大型車両系建設機械の運転業務		1		1					
	小型車両系建設機械の運転業務		8			4	3	1		
	防災士		4			4				
	電気取扱業務に係る特別教育(低圧)		15			8	7			
	高所作業車取扱技能		3		1	1	1			
	衛生管理者		2			2				
	ボイラー技士・取扱技能		8		2	6				
	アーク溶接技能		54		8	22	21	3		

消防職員学校教育派遣状況

平成24年度

年 度 別 教育課程		平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度	平 成 23 年 度	平 成 24 年 度	18 年 度 ～ 24 年 度 計
秋 田 県 消 防 学 校	初 任 教 育		3	3	2	3	3	3	17
	専 門 科								
	警 防 科	1	1	1	1	1	1	1	7
	予 防 査 察 科	1		1		1		1	4
	火 災 調 査 科	1	1	1	1	1	1	1	7
	救 急 科	2	2	2	2	3	3	3	17
	救 助 科	1	1	1	1	1	1	1	7
	危 険 物 科		1		1		1		3
	特 殊 災 害 科			1	1	1	1	1	5
	幹 部 教 育	1		1	1	1	1	1	6
	幹 部 教 育								
	中 級 幹 部 科								0
	上 級 幹 部 科								0
	特 別 教 育								
	消 防 操 法 指 導 員 講 習	2	2	2	2	2	2	2	14
	救 急 特 別 講 習	1		1		1		1	4
	気 管 挿 管 追 加 講 習	1	1						2
	薬 剤 投 与 追 加 講 習			1	1	3	3		8
消 防 大 学 校	新 任 消 防 長 研 修								0
	救 急 救 命 東 京 研 修 所 救 急 救 命 士 教 育		1		1		1		3
	救 急 救 命 九 州 研 修 所 薬 剤 投 与 追 加 講 習	1							1
合 計		12	13	15	14	18	18	16	106

秋田県消防学校

	期 間	実施時間	派遣数	備 考
初 任 教 育	平成24年 4月11日～ 9月21日	800	3	第 66 期
消防操法指導員講習	平成24年 5月 7日～ 5月 8日	12	2	
幹 部 教 育	平成24年 7月30日～ 8月 7日	49	1	第 7 期
救 助 科	平成24年10月 1日～ 10月31日	150	1	第 21 期
特 殊 災 害 科	平成24年10月 3日～ 10月12日	49	1	第 5 期
火 災 調 査 科	平成24年10月15日～ 10月26日	70	1	第 44 期
警 防 科	平成24年11月 5日～ 11月16日	70	1	第 39 期
予 防 査 察 科	平成24年11月26日～ 12月 7日	70	1	第 39 期
救 急 特 別 講 習	平成24年12月10日～ 12月14日	31	1	
救 急 科	平成25年 1月 9日～ 3月 1日	250	3	第 21 期

消防大学校

救 助 科	平成24年 8月27日～ 10月16日	234	1	第 66 期
-------	---------------------	-----	---	--------

施設



平成25年1月から資機材搬送車が運用を開始しております。災害現場への資器材搬送や撤収時の資器材を回収、緊急消防援助隊派遣先での後方支援活動、多数傷病者発生時の一時救護所として使用されます。

消防車両等一覧表

平成25年4月1日現在

消	名称	指揮車	
	購入年月	平成19年10月	
	車名	日産キャラバン	
	出力	130ps	
	気筒数	4	
	装備	照明灯、ルーフキャリア	
	駆動方式	四輪駆動	
防	名称	本部広報車	
	購入年月	平成12年9月	
	車名	日産プレサージュ	
	出力	150ps	
	気筒数	4	
	装備	照明灯	
	駆動方式	四輪駆動	
部	名称	消防団広報車	
	購入年月	平成15年3月	
	車名	日産ブルーバードシルフィー	
	出力	120ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	二輪駆動	
	備考	日本消防協会寄贈	
消	名称	資機材搬送車	
	購入年月	平成24年12月	
	車名	いすゞエルフ	
	出力	110ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	ウイングボデー、マルチゲート	
防	ぎ装	いすゞ車体、北村製作所、新明和工業	
	対空表示	秋田鹿角搬送	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	
	名称	広報車	
	購入年月	平成16年6月	
	車名	日産エクストレイル	
	出力	150ps	
署	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	

消防車両等一覧表

平成25年4月1日現在

消	名称	水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成4年12月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	195ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水2,000リットル 放水銃 照明灯、三連梯子自動昇降装置	
防	ポンプ	日本機械工業株式会社	
	名称	ポンプ1号車	
	購入年月	平成17年1月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
署	装備	パワーゲート、照明灯 積載水900リットル	
	ポンプ	日本機械工業株式会社	
	対空表示	鹿角ポ1	
	名称	ポンプ2号車	
	購入年月	昭和61年12月	
	車名	三菱キャンター	
	出力	110ps	
署	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	パワーゲート	
	ポンプ	日本機械工業株式会社	
	名称	救助工作車	
	購入年月	平成15年2月	
	車名	いすゞフォワード	
署	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	照明、クレーン、ウインチ、噴霧装置	
	ぎ装	日本機械工業株式会社	
	対空表示	秋田R 4	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	
署	名称	化学車	
	購入年月	平成20年2月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	220ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水1,500リットル 薬剤A30リットル 薬剤B500リットル	
署	ポンプ	日本機械工業株式会社	
	対空表示	秋田化2	
署	その他	緊急消防援助隊登録車両	

消防車両等一覧表

平成25年4月1日現在

消防	名称	救急1号車	
	購入年月	平成20年2月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	対空表示	秋田 A 1 5	
署	その他	緊急消防援助隊登録車両	
	名称	救急2号車	
	購入年月	平成23年3月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
十和田	その他	全国共済農業協同組合連合会寄贈	
	名称	十和田水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成13年9月	
	車名	いすゞフォワード	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水2,000ℓ 三連梯子自動昇降装置 照明灯	
分署	ポンプ	日本機械工業株式会社	
	名称	十和田救急車	
	購入年月	平成19年1月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
署	対空表示	秋田 A 1 2	
	名称	十和田広報車	
	購入年月	平成20年7月	
	車名	三菱デリカ	
	出力	170ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	

消防車両等一覧表

平成25年4月1日現在

小	名称	小坂水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成13年10月	
	車名	日産パラメディック	
	出力	125ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	
坂	名称	小坂救急車	
	購入年月	平成13年10月	
	車名	日産パラメディック	
	出力	125ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
分	名称	小坂広報車	
	購入年月	平成21年7月	
	車名	三菱デリカ	
	出力	170ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
署	名称	小坂広報車	
	購入年月	平成21年7月	
	車名	三菱デリカ	
	出力	170ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	

消防車両の使用経過年数状況

平成25年4月1日現在

		配備年	平成25年4月 現在経過年数	1 年 未 満	1 年 以 上	2 年 以 上	3 年 以 上	4 年 以 上	5 年 以 上	7 年 以 上	1 0 年 以 上	1 5 年 以 上	2 5 年 以 上
本 部	指揮車	平成19年4月	6年 0月						1				
	本部広報車	平成12年9月	12年 7月								1		
	消防団広報車	平成15年3月	10年 11月								1		
消 防 署	資機材搬送車	平成24年12月	0年 4月	1									
	広報車	平成16年6月	8年 10月							1			
	水槽付きポンプ自動車	平成4年12月	20年 4月									1	
	ポンプ1号車	平成17年1月	8年 3月							1			
	ポンプ2号車	昭和61年12月	26年 3月										1
	救助工作車	平成15年2月	10年 2月								1		
	化学車	平成20年2月	5年 2月						1				
	救急1号車	平成20年2月	5年 2月						1				
十 和 田 分 署	救急2号車	平成23年3月	2年 1月			1							
	水槽付きポンプ自動車	平成13年9月	11年 7月								1		
	救急車	平成19年1月	6年 3月						1				
小 坂 分 署	広報車	平成20年7月	4年 9月					1					
	水槽付きポンプ自動車	平成23年2月	2年 2月			1							
	救急車	平成13年10月	11年 5月								1		
鹿角広域行政組合消防本部保有消防車両総数			18台	1台	0台	2台	1台	1台	4台	2台	5台	1台	1台

消防水利状況

平成25年4月1日現在

水利区分 管轄別	消火栓		防火水槽				指定外 水 利
	布設管径		有蓋		無蓋		
	150mm	150mm	40m³	40m³	40m³	40m³	プール
	以上	未満（基準）	以上	未満	以上	未満	
消 防 署 小 計	163	228（159）	166	14	10	3	13
花 輪	74	95（80）	67	2	2		7
尾 去 沢	61	88（55）	22	9			2
八 幡 平	28	45（24）	77	3	8	3	4
十和田分署小計	77	128（45）	71	2			8
毛 馬 内	46	57（27）	15				5
大 湯	18	47（7）	31				2
錦 木	13	24（11）	25	2			1
小坂分署小計	49	71（28）	51	1	0	0	3
上向・十和田湖	4	13（5）	8	1			
中 央	18	28（13）	21				1
川 上	15	15（1）	6				1
七 滝	12	15（9）	16				1
合 計	289	427（232）	288	17	10	3	24

※消防水利の基準(消防法第20条第1項)

消防水利は、常時貯水量が40m³以上又は取水可能水量が毎分1m³以上で、かつ、連続40分以上の給水能力を有するものでなければならない。

消火栓は、呼称65の口径を有するもので、直径150mm以上の管に取り付けられていなければならない。ただし、管網の一辺が180m以下となるように配管されている場合は75mm以上とすることができる。

消防車両等一覧表

平成25年4月1日現在

地 区 名	河 川 名	水防倉庫名	建築年月日	設 置 場 所
花 輪	米 代 川	鹿 角 市	平成11年3月18日	鹿角市花輪字新田町 1 1 番地 4
	米 代 川	下 川 原	平成21年11月20日	鹿角市花輪字下川原 3 5 番地 4
十 和 田	大 湯 川	十 和 田	昭和36年1月23日	鹿角市十和田毛馬内字上陣場 9 番地 5
小 坂	小 坂 川	小 坂	平成22年2月12日	鹿角郡小坂町小坂字中前田 6 8 番地 3

水防倉庫資材状況

平成25年4月1日現在

倉 庫 名		単位	鹿角市	下川原	十和田	小 坂	計
品 名							
土	囊	袋	530	150	150	232	1,062
麻	袋	枚	80	220	56		356
ビ ニ ー ル	袋	枚	400	800			1,200
P P ク ラ ン プ	袋	枚	290				290
P E 土 囊	袋	枚	830	400	480	3,941	5,651
む し ろ	枚				40		40
玉	縄	丸	82	53	22	28	185
掛	矢	丁	5	3	1	9	18
角 ス コ ッ プ	丁					35	35
剣 ス コ ッ プ	丁		55	9	60	53	177
鈍	線	kg	100	70	100	30	300
鉋	鎌	丁	3		3	4	10
竹	本		7	46	22	69	144
長 木 4 m	本		7	16	50	24	97
長 木 3 m	本		23	40	8		71
長 木 2 m	本		11	22	18		51
杭	木	本	6		2	13	21
ロ ー プ	本		8		3	13	24
鋸	丁		2	1	2		5
鉋	丁		6		2	6	14
斧	丁		4	1	1	3	9
絶 縁 ペ ン チ	本		1	1	1		3
S B パ イ ル	本		430	35	265	186	916
ビ ニ ー ル シ ー ト	枚		19	10	15	16	60
も っ こ	枚			7			7
唐 鋏	丁		5		13	19	37
つ る は し	丁				1	31	32
一 輪 車	台					5	5
防 火 用 具	袋		2				2
道 具	袋		1	1	1		3
ハ ン ド マ イ ク	台		5				5

予 防



隣近所が助け合う自主防災組織

発災直後の初動では、地域住民が自ら生命を守り、助け合うことが重要です。定期的に地域の住民同士が話し合い、救出・救助、初期消火、安全な避難、避難所の運営などを行える仕組みを構築することが防災力向上に繋がります。

大規模災害に備え「自助・共助にもとづく地域防災力」を飛躍的に高めることが喫緊の課題です。

防火対象物及び立入検査状況（150㎡以上）

※立入検査を複数回実施して

いる防火対象物があります

平成24年度

市 町 別 防火対象物の用途		防 火 対 象 物		立入検査実施数		違反対象物数	
		鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
1	イ 劇場・映画館等	1					
	ロ 公会堂又は集会場	83	7				
2	イ キャバレー等						
	ロ 遊技場・ダンスホール	4					
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ カラオケボックス等						
3	イ 待合・料理店等	1					
	ロ 飲食店	29	4	1			
4	百貨店又はマーケット等	78	5	17		15	
5	イ 旅館・ホテル等	32	15	32	15	24	5
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	156	15	11	8	2	6
6	イ 病院・診療所等	19	2	8		7	
	ロ 福祉施設等（障害程度が重い）	18	6	14	6	9	4
	ハ 福祉施設等（障害程度が軽い）	29	6	15	1	14	
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	2		1			
7	学校関係	17	3	6	4	5	4
8	図書館・博物館等	11	2	3		2	
9	イ 蒸気浴場・その他						
	ロ イ以外の公衆浴場	9					
10	車両停車場等	2	1				
11	神社・寺院等	38	3	7		6	
12	イ 工場・作業場	183	52		28		
	ロ スタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	16	2	1		1	
	ロ 飛行機等の格納庫						
14	倉庫	145	23		8		
15	前各項に該当しない事業所	161	48	7	12	5	3
16	イ 複合用途防火対象物	241	20	27	1	21	
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	84	8	1	1	1	
そ の 他		3	4		3		2
合 計		1,362	226	151	87	112	24

危険物製造所等の立入検査状況

平成24年度

区 分 製造所の別			廃 止		総 施 設 数		立入検査実施数		違反施設数	
			鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
製 造 所					1					
貯 蔵 所	屋 内				7	4	1	1	1	
	屋外タンク				7	12	3	7		
	屋内タンク				3		1			
	地下タンク		7	1	100	22	37	11	18	
	移動タンク		5	2	50	10	33	10	8	1
	屋 外			1	1	1	1	1		
	簡易タンク					1				
取 扱 所	給 油	営 業	4		23	5	17	5	11	4
		自 家	1		12		4		2	
	一 般		4	3	33	12	14	11	6	
合 計			21	7	237	67	111	46	46	5

消防法令等による許可申請等の状況

平成24年度

種 別	件数
工事整備対象設備等着工届	21
消防用設備等設置届	93
消防用設備等検査済証	36
消防用設備等点検結果報告書	429
防火管理者選任届	76
防火管理者解任届	57
消 防 計 画 届	137
防火対象物使用開始届	82
自衛消防訓練通知書	331
火災とまぎらわしい行為届出	159
少量危険物貯蔵取扱届	40
り 災 証 明	23

種 別		件数
危 険 物 製 造 所 等	設 置 許 可 申 請	11
	設 置 許 可 指 令	11
	変 更 許 可 申 請	22
	変 更 許 可 指 令	22
	設 置 完 成 検 査 申 請	11
	設 置 完 成 検 査 済 証	11
	変 更 完 成 検 査 申 請	22
	変 更 完 成 検 査 済 証	22
	譲 渡 引 渡 届	6
	廃 止 届	28
	仮 使 用 承 認	6
危 険 物 保 安 監 督 者 選 任 届		6
危 険 物 保 安 監 督 者 解 任 届		7
危 険 物 種 類 数 量 変 更 届		3
危 険 物 仮 貯 蔵 仮 取 扱 承 認		1

建築同意状況

平成24年度

防火対象物の用途		鹿角市	小坂町	計
1	イ 劇場・映画館等			
	ロ 公会堂又は集会場	2		2
2	イ キャバレー等			
	ロ 遊技場・ダンスホール			
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ カラオケボックス等			
3	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店			
4	百貨店又はマーケット等	2	1	3
5	イ 旅館・ホテル等			
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	1		1
6	イ 病院・診療所等			
	ロ 福祉施設等（障害程度が重い）			
	ハ 福祉施設等（障害程度が軽い）			
	ニ 幼稚園・特別支援学校等			
7	学校関係			
8	図書館・博物館等		1	1
9	イ 蒸気浴場・その他			
	ロ イ以外の公衆浴場			
10	車両停車場等			
11	神社・寺院等	1		1
12	イ 工場・作業場	5	2	7
	ロ スタジオ			
13	イ 自動車車庫・駐車場	4		4
	ロ 飛行機等の格納庫			
14	倉庫	5	2	7
15	前各項に該当しない事業所	10	11	21
16	イ 複合用途防火対象物	2	1	3
	ロ イ以外の複合用途防火対象物			
上記以外の住宅等建築物		49	4	53
合 計		81	22	103

防火対象物定期点検報告制度状況

平成24年度

防火対象物の用途			市 町 別		対 象 物		点検基準適合数		特例認定数	
			鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
1 項	イ	劇場・映画館等	1							
	ロ	公会堂・集会場	6	1						
2 項	ロ	遊技場・ダンスホール	2					1		
3 項	ロ	飲食店								
4 項		百貨店・マーケット等	8	1				6		
5 項	イ	旅館・ホテル等	9	2	4	4	3	2		
6 項	イ	病院・診療所等	2				2			
16 項	イ	複合用途防火対象物	10	2			1			
17 項		重要文化財等		1						
合 計			38	7	4	4	13	2		

「自主点検報告制度」により消防法令を遵守している旨の表示を希望する場合、点検基準に適合していれば「防火自主点検済証」を表示できます。

甲種防火管理者講習状況

(人)

年 次	昭和 3 6 年度～平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	計
受講者数	1,464	25	74	1,563

甲種防火管理者再講習受講状況

(人)

年 次	平成 1 8 年度～平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度	計
受講者数	44	8	9	61

※ 平成 1 8 年 4 月 1 日から収容人員が 3 0 0 人以上の特定防火対象物の防火管理者は 5 年ごとの再講習が義務付けられました。

住宅用火災警報器設置調査状況

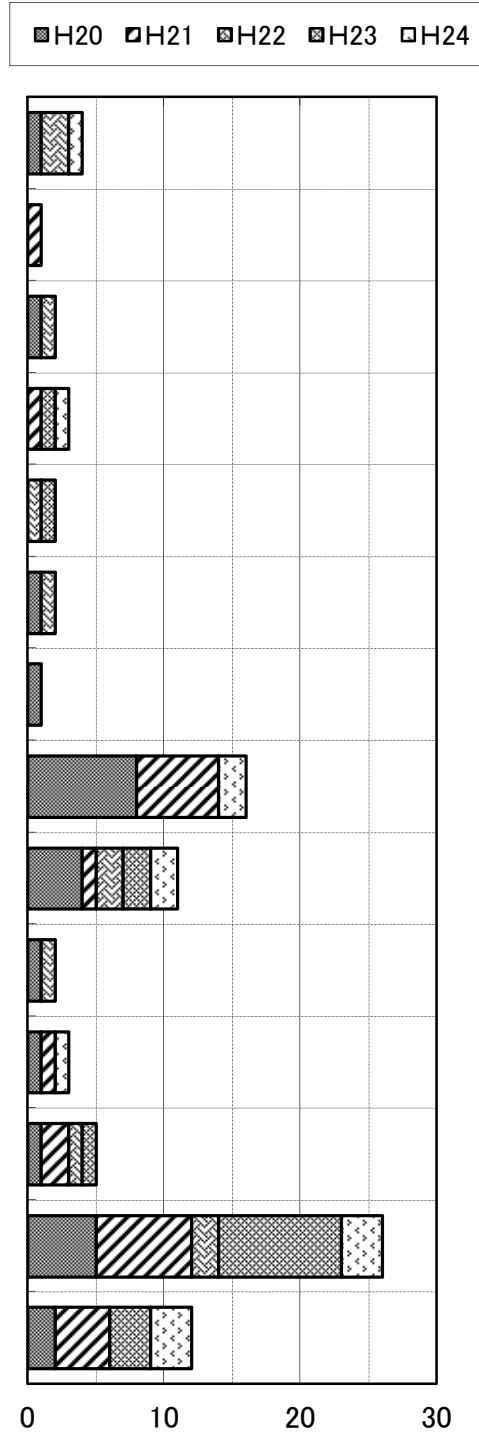
市町村別	総世帯数	設置世帯数	設置率(%)	推計普及率(%)
			平成24年5月1日現在	平成24年6月現在
鹿角市	12,898	9,677	75.0%	鹿角広域 71.5%
小坂町	2,445	1,845	75.5%	秋田県 75.8%
合計	15,343	11,522	75.1%	全 国 77.5%

※推計普及率は総務省消防庁発表

過去5年間の火災原因

(件)

	H20	H21	H22	H23	H24
たばこ	1		2		1
たき火		1			
火あそび	1		1		
コンロ		1		1	1
ボイラー			1	1	
こたつ	1		1		
風呂・かまど	1				
屑焼き不始末等	8	6			2
ストーブ	4	1	2	2	2
煙突・煙道	1		1		
電気配線	1	1			1
放火・放火疑い	1	2	1	1	
その他	5	7	2	9	3
不明・調査中	2	4		3	3
合 計	26	23	11	17	13



平成24年1月～12月 月別火災状況

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年	前年比
件数		0	0	0	2	2	1	0	1	0	3	2	2	13	17	-4
火災種別 (件)	建物				2	2			1		3	1	2	11	11	0
	林野						1							1	0	1
	車両											1		1	3	-2
	その他													0	3	-3
覚知別 (件)	119				2		1				2	2	2	9	14	-5
	加入電話					2			1		1			4	0	4
	その他													0	3	-3
出動人員 (人)	職員				56	50	13		23		61	32	54	289	332	-43
	団員				143	107	29		66		153	50	191	739	416	323
放水ポンプ (台)	自動車				3	5	2		4		10	5	5	34	35	-1
	小型				3	10	1		6		12		3	35	11	24
焼損棟数 (棟)	住宅	全焼				1			1		1			3	3	0
		半焼			1							1		2	1	1
		部分焼											2	2	4	-2
		ぼや									1			1	0	1
	非住家	全焼			1	2			2					5	0	5
		半焼												0	0	0
		部分焼			1	1								2	5	-3
		ぼや									1			1	1	0
り災世帯 (世帯)	全損					1			1		1		1	4	10	-6
	半損				1							1		2	0	2
	小損										1		3	4	4	0
り災人員(人)					5	3			2		6	5	8	29	40	-11
焼損面積	建築物(㎡)				203	155			526		242	108	52	1,286	889	397
	表面積(㎡)				51									51	49	2
	林野(㍔)						11							11	48	-37
	車両(台)				平成24年6月現在							1	1	2	7	-5
死者(人)						1	1							1	3	-2
負傷者(人)							1		1		1			2	5	-3
損害見積額 (千円)	建物				14,597	3,544	1		3,420		3,683	7,494	308	33,047	31,137	1,910
	収容物				3,014	306			316		1,159	1,472	550	6,817	6,121	696
	その他						433		149					582	15,166	-14,584
	合計	0	0	0	17,611	3,850	434	0	3,885	0	4,842	8,966	858	40,446	11,902	28,544

幼少年婦人防火クラブ加入団体

平成25年4月1日現在

No.	少 年 消 防 ク ラ ブ	会員数(人)
1	湯瀬少年消防クラブ	17
2	茜町少年消防クラブ	15
3	館子供会	23
4	下モ平子供会	32
5	花輪北小学校	151
6	小枝指子供会	11
7	花輪小学校	478
8	松館子供会	23
9	松山子供会	16
10	西道口子供会	30
11	石鳥谷子供会	15
12	甚兵エ川原子供会	4
13	神田子供会	15
14	用野目子供会	32
15	谷内子供会	34
16	長牛・桃枝子供会	7
17	上台子供会	17
18	沢尻子供会	13
19	林崎・檜内子供会	10
20	古川子供会	14
21	上山・水晶山子供会	18
22	小割沢子供会	3
23	夏井子供会	21
24	長嶺子供会	30
25	新田町3区子供会	12
26	舟場3区子供会	13
27	下川原子供会	22
28	長野子供会	6
29	市街地子供会	12
30	土深井子供会	4
31	三の丸子供会	24
32	瀬田石子供会	12
33	新田・砂派子供会	4
34	二本柳子供会	2
35	東町子供会	38
36	冠田・曲谷地子供会	10
合 計		1,188

No.	幼 年 消 防 ク ラ ブ	会員数(人)
1	花輪にこにこ保育園幼年消防クラブ	95
2	柴内保育園幼年消防クラブ	26
3	平元保育園幼年消防クラブ	11
4	毛馬内保育園幼年消防クラブ	90
5	錦木保育園幼年消防クラブ	43
6	尾去沢保育園幼年消防クラブ	49
7	わかば保育園	35
8	大湯保育園幼年消防クラブ	48
9	花輪さくら保育園幼年消防クラブ	145
10	八幡平なかよしセンター幼年消防クラブ	74
合 計		616

No.	婦 人 防 火 ク ラ ブ	会員数(人)
1	館婦人防火クラブ	15
2	湯瀬婦人防火クラブ	12
3	小枝指婦人防火クラブ	13
4	松館婦人防火クラブ	7
5	下モ平婦人防火クラブ	15
6	蟹沢婦人防火クラブ	20
合 計		82

鹿角市幼少年婦人防火クラブ	
加 入 団 体	52
会 員 数 (人)	1,886

活動状況

平成24年度

事 業 名	場 所	実施日	内 容
鹿角市幼少年婦人防火委員会会議	消防本部	6月25日	委員11名出席
第64回秋田県消防協会鹿角支部消防訓練大会	鹿角市役所駐車場	7月1日	受付等の協力参加
平成24年度秋田県婦人防火クラブ連絡協議会	秋田県庁	8月3日	役員会に出席
平成24年度秋田県婦人防火研修会	秋田市文化会館	11月1日	婦人防火クラブ3団体6名が参加
秋の火災予防週間防火PR	毛馬内定期市場	11月7日	毛馬内幼少年消防クラブによる火災予防PR
消防出初め式	花輪市街地	1月4日	婦人防火クラブ3団体17名が参加
鹿角市婦人防火クラブ交流会	鹿角パークホテル	2月26日	幼少年婦人防火クラブ13名参加

救 急



DMATと鹿角広域行政組合消防署救急隊員との訓練風景

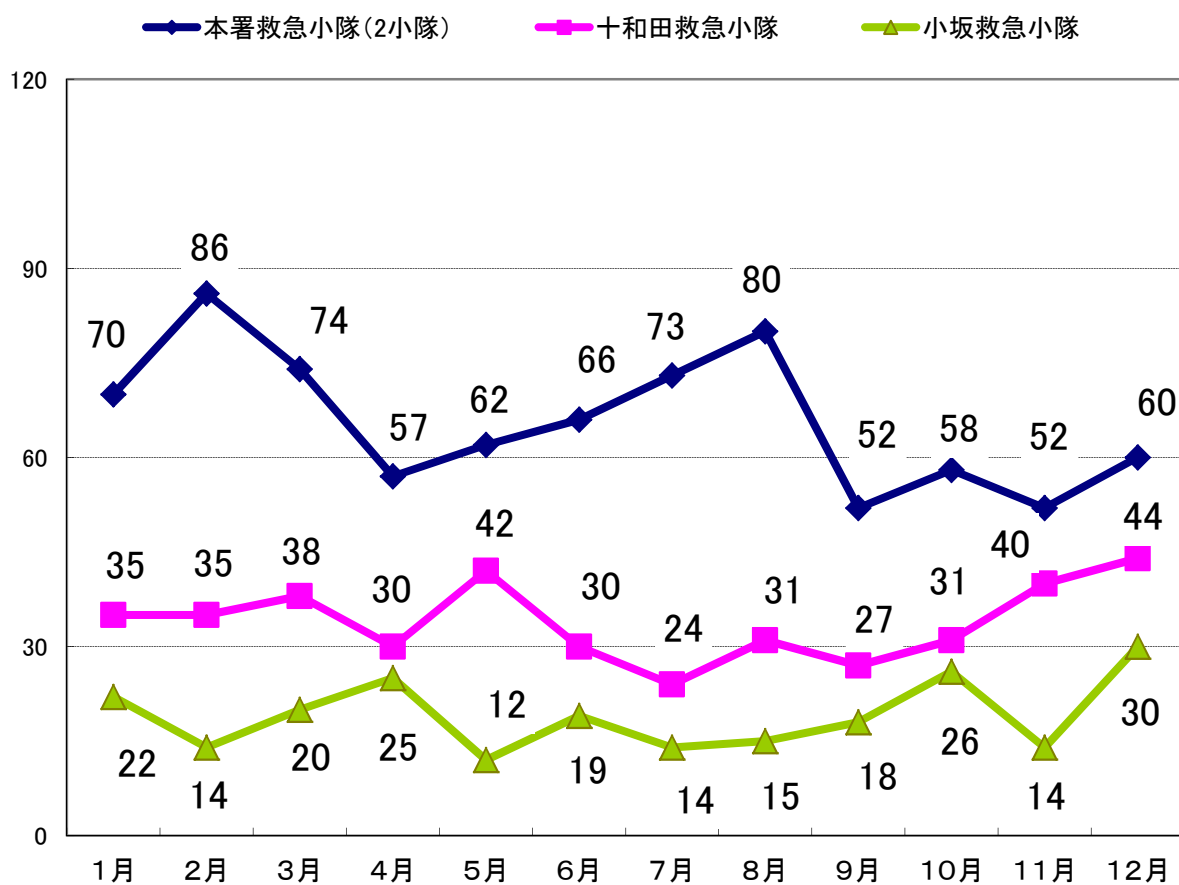
平成24年8月30日、秋田県総合防災訓練で、かつの厚生病医院と鹿角広域行政組合消防署との災害拠点病院受入訓練を実施しました。

※DMAT(災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team)とは、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

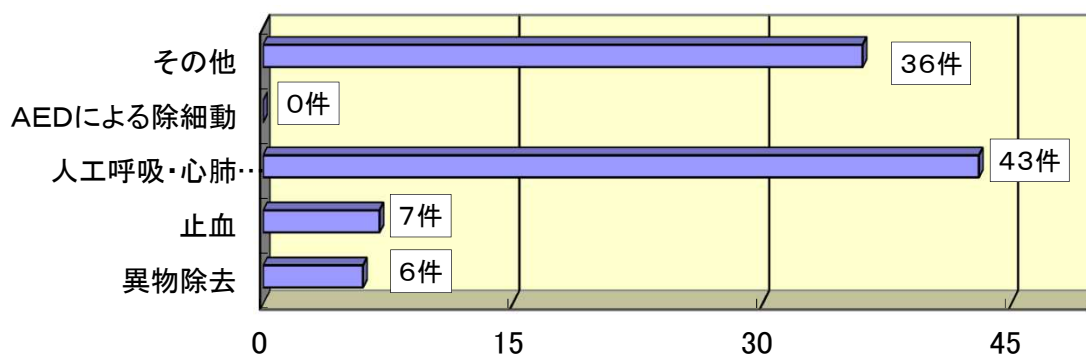
平成24年救急出動状況

救急出動件数	1,426件
搬送人員	1,311人
不搬送件数	129件
一日平均出動件数	3.9件
平均現場到着時間	8.8分

救急小隊別出動内訳



バイスタンダーによる応急手当・救命処置数



月 別 救 急 活 動 状 況 調

(単位：件・人)

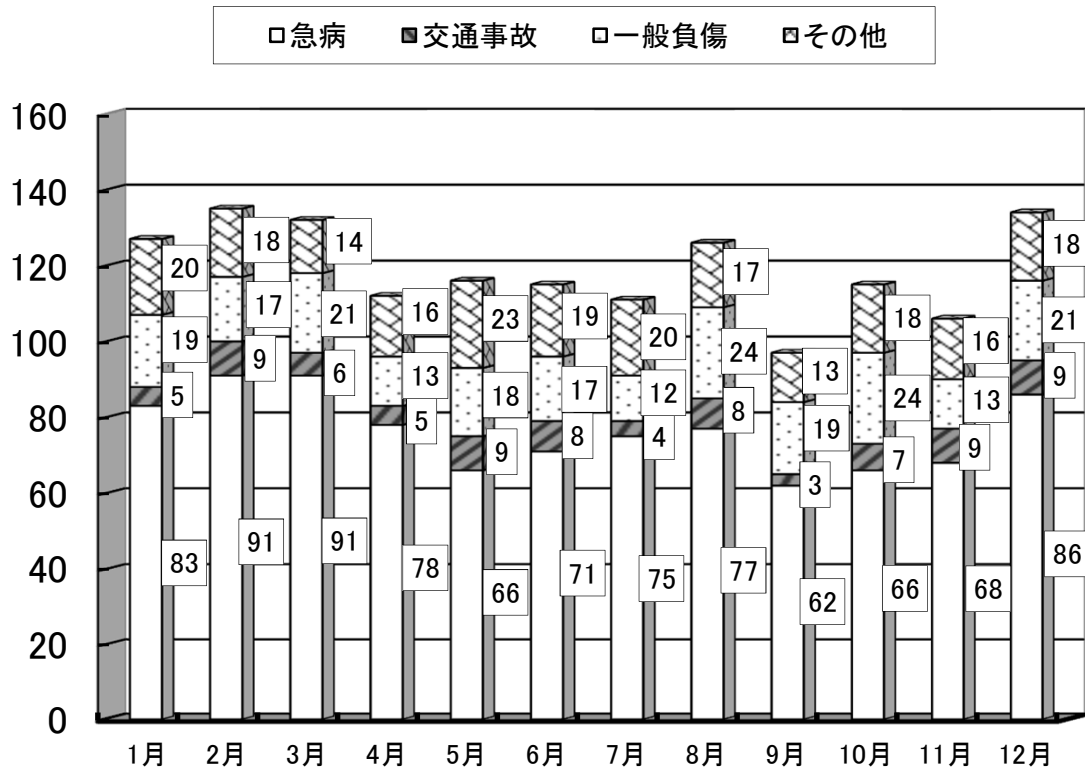
【平成24年 鹿角広域消防本部全救急隊】

月別 区分 種別		合計	救 急 事 故 種 別													
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
1月	出動件数	127				5	3	2	19		1	83	14			
	不搬送件数	11				1					1	9				
	搬送人員	116				4	3	2	19			74	14			
2月	出動件数	135				9		2	17	1		91	14			1
	不搬送件数	12							3	1		7				1
	搬送人員	126				11		2	15			84	14			
3月	出動件数	132				6	2	1	21	1	1	91	8			1
	不搬送件数	15				2			1		1	10				1
	搬送人員	117				4	2	1	20	1		81	8			
4月	出動件数	112	2		1	5			13			78	12			1
	不搬送件数	17	2		1	1			2			10				1
	搬送人員	96				5			11			68	12			
5月	出動件数	116	2		1	9		1	18	1	2	66	16			
	不搬送件数	14	2			1			4	1	1	5				
	搬送人員	102			1	8		1	14		1	61	16			
6月	出動件数	115				8	1	1	17		1	71	13			3
	不搬送件数	12				1						8				3
	搬送人員	104				8	1	1	17		1	63	13			
7月	出動件数	111				4	2	1	12	1	2	75	14			
	不搬送件数	8									1	7				
	搬送人員	105				4	2	1	12	1	1	70	14			
8月	出動件数	126	1			8	2	1	24	1		77	12			
	不搬送件数	6	1			2			1			2				
	搬送人員	120				6	2	1	23	1		75	12			
9月	出動件数	97				3			19		1	62	12			
	不搬送件数	5				1					1	3				
	搬送人員	92				2			19			59	12			
10月	出動件数	115	2			7	2		24		2	66	11	1		
	不搬送件数	5	1			1						3				
	搬送人員	110	1			7	2		24		2	63	11			
11月	出動件数	106				9	3		13		2	68	10			1
	不搬送件数	13				2					1	9				1
	搬送人員	96				10	3		13		1	59	10			
12月	出動件数	134	2			9	1		21			86	12			3
	不搬送件数	11	2						1			5				3
	搬送人員	127				13	1		20			81	12			
計	出動件数	1,426	9	0	2	82	16	9	218	5	12	914	148	1	0	10
	不搬送件数	129	8	0	1	12	0	0	12	2	6	78	0	0	0	10
	搬送人員	1,311	1	0	1	82	16	9	207	3	6	838	148	0	0	0

月別事故種別救急出動状況調

(単位：件)

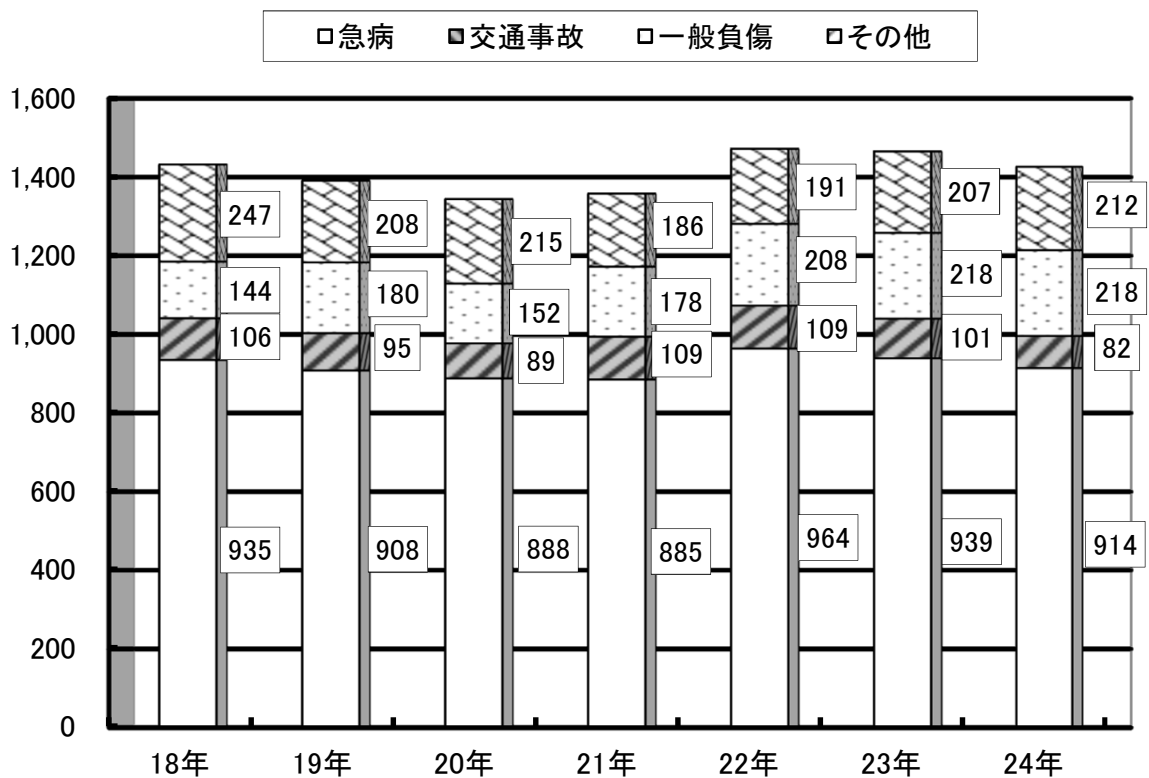
平成24年



事故種別救急出動件数の推移（過去7年間）

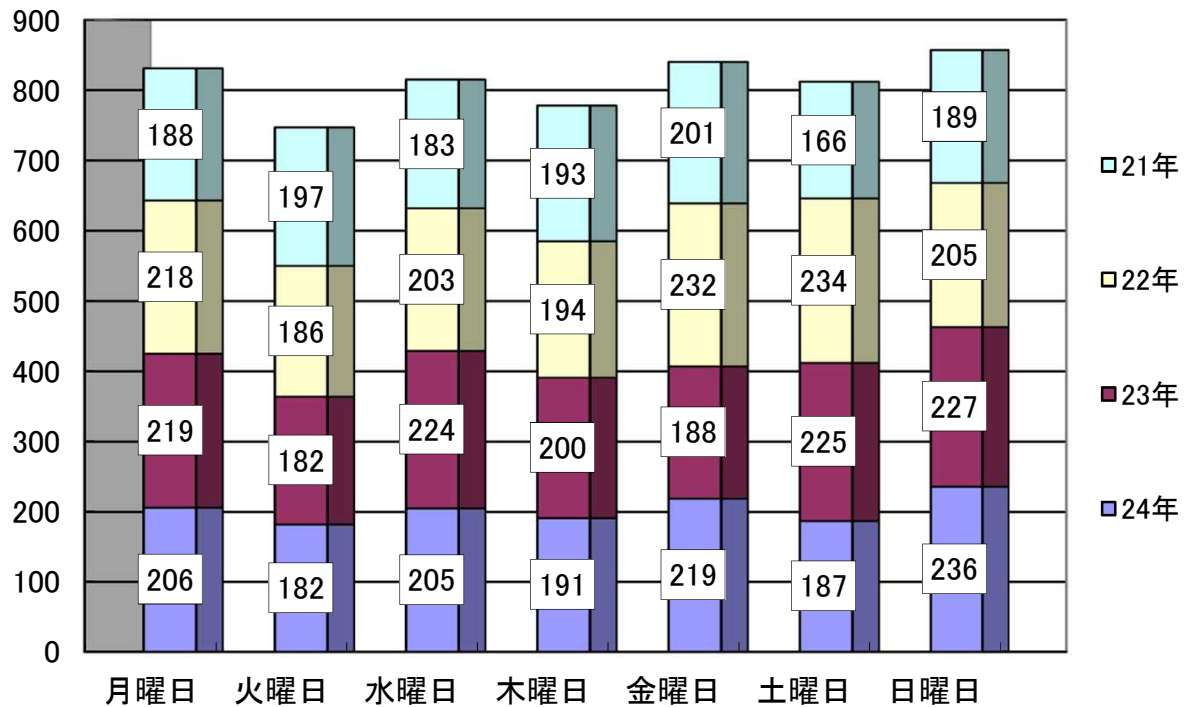
(単位：件)

平成24年



年別・曜日別出動状況(出動件数)

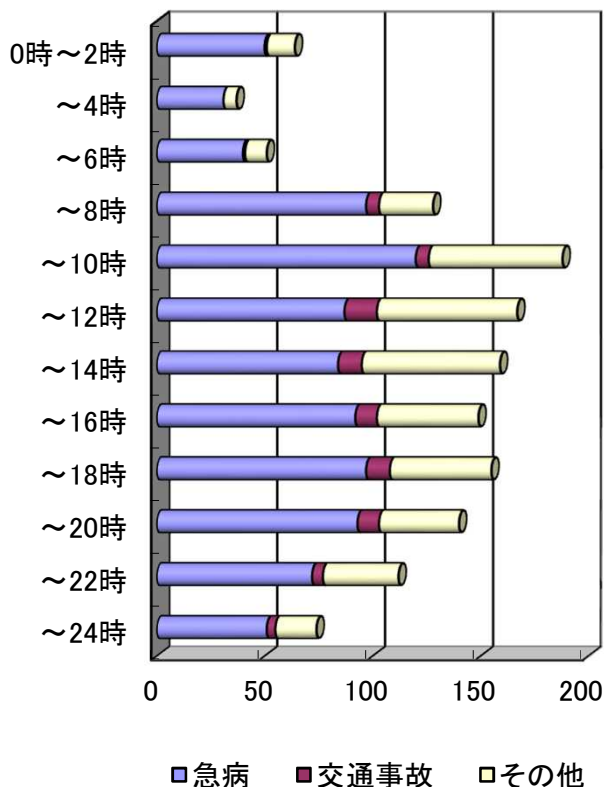
(単位：件)



事故種別・時間別・傷病者搬送状況(搬送人員)

(単位：人)

平成24年

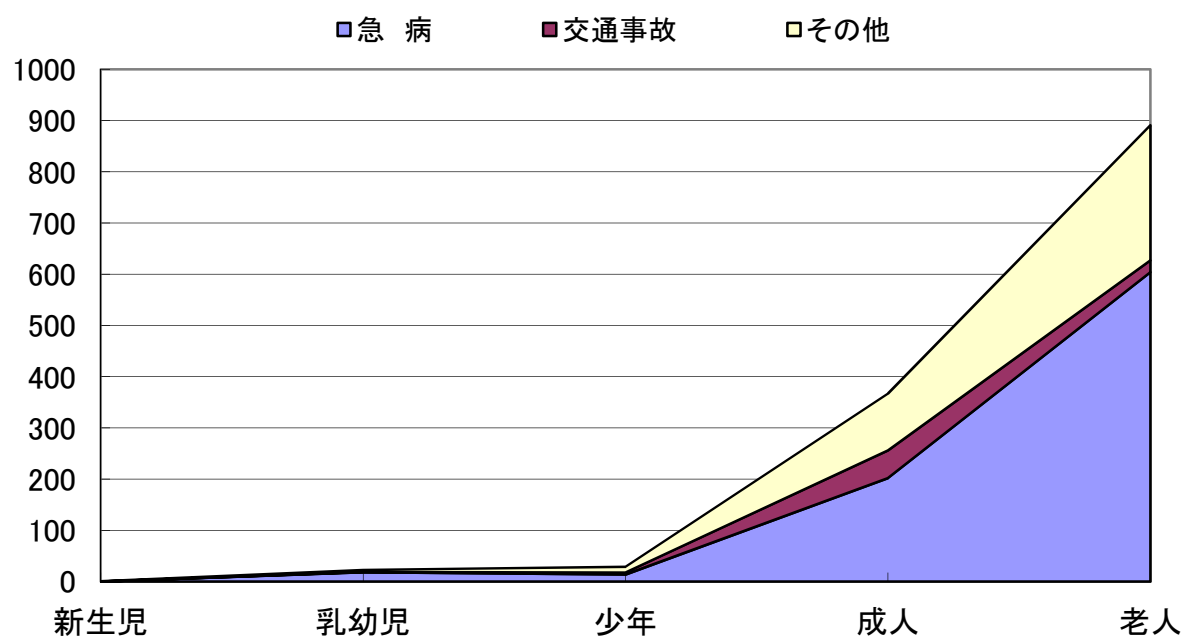


	急病	交通事故	その他
0時～2時	50	3	13
～4時	31	0	6
～6時	40	1	10
～8時	97	6	25
～10時	120	6	62
～12時	87	15	65
～14時	84	11	64
～16時	92	10	47
～18時	97	11	47
～20時	93	10	37
～22時	72	5	35
～24時	51	4	19
合計	914	82	430

事故種別・年齢別・傷病者搬送状況（搬送人員）

（単位：人）

平成24年

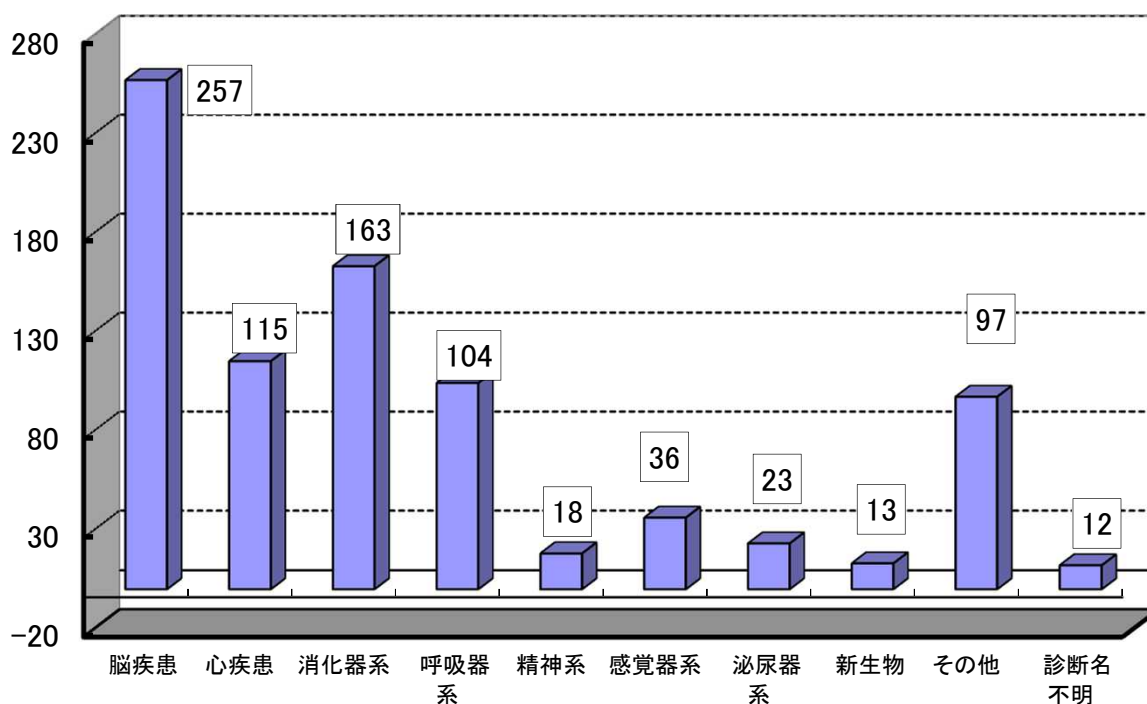


	新生児 0～28日未満	乳幼児 28日～7歳未満	少年 7～18歳未満	成人 18～65歳未満	老人 65歳以上
急病	0	18	14	202	604
交通事故	0	1	4	54	23
その他	1	4	11	111	264
合計	1	23	29	367	891

急病にかかわる疾病別搬送人員調べ（搬送人員）

（単位：人）

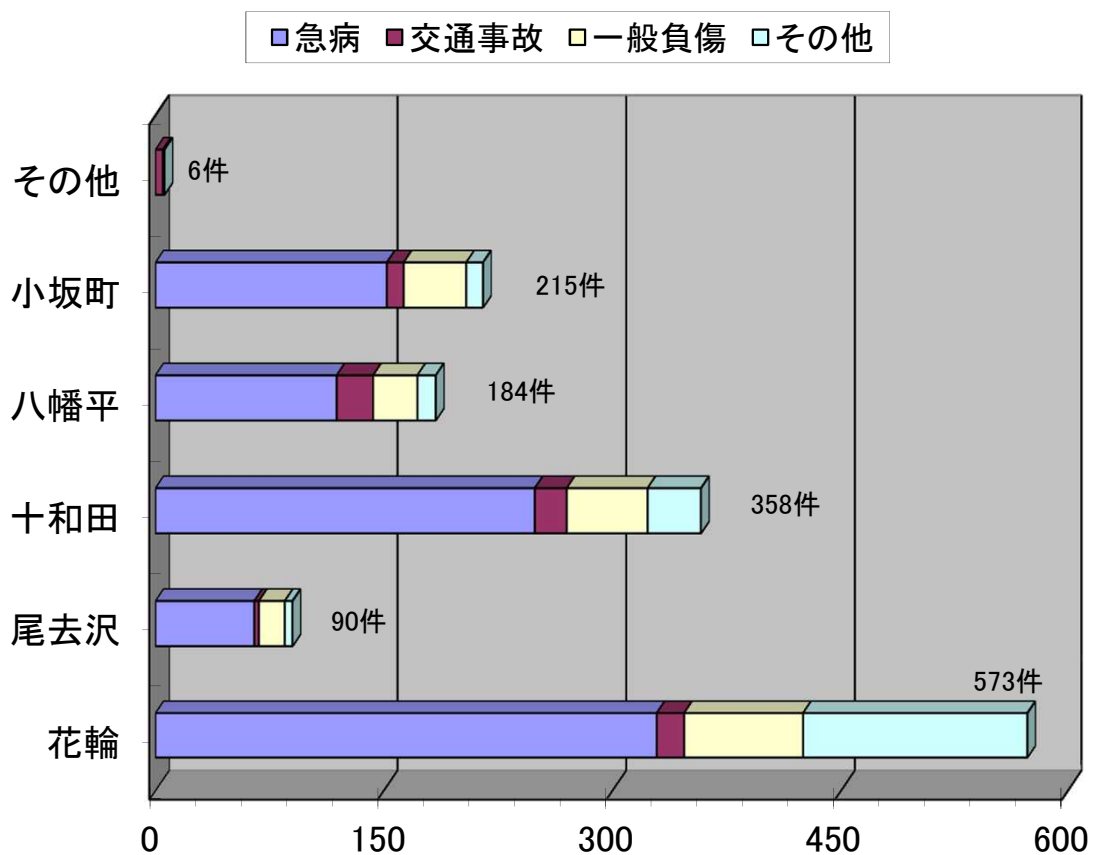
平成24年



事故種別・地域別出動状況（出動件数）

（単位：件）

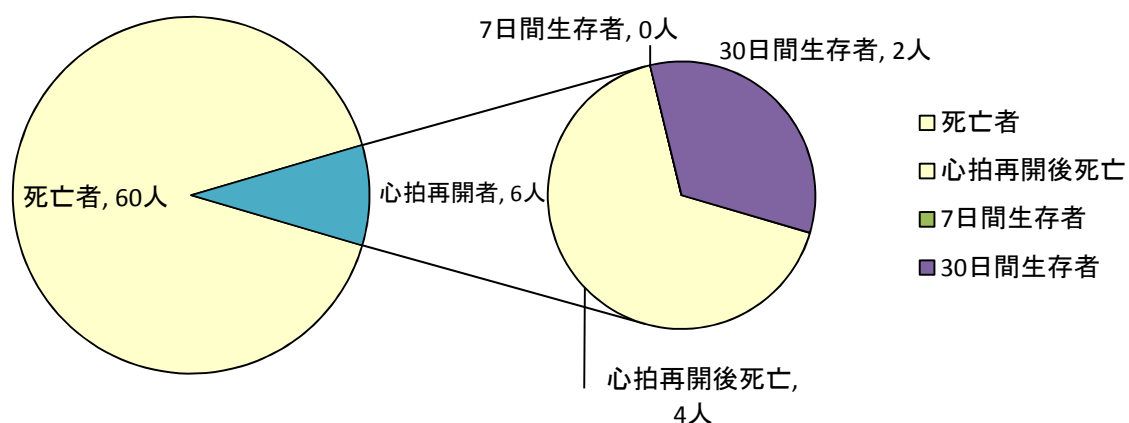
平成24年



種別 地域	合計	救急事故種別												その他			
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病						
												転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他		
花輪	573	4	0	0	18	2	8	78	4	6	329	117	0	0	7		
尾去沢	90	1	0	0	3	3	0	17	1	0	65	0	0	0	0		
十和田	358	0	0	0	21	3	1	53	0	2	249	26	0	0	3		
八幡平	184	2	0	2	24	6	0	29	0	2	119	0	0	0	0		
小坂町	215	2	0	0	11	1	0	41	0	2	152	5	1	0	0		
その他	6	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	1,426	9	0	2	82	16	9	218	5	12	914	148	1	0	10		

救 急 蘇 生 指 標

	平成 2 2 年	平成 2 3 年	平成 2 4 年
救 急 搬 送 人 員	1,398 人	1,372 人	1,311 人
搬送人員のうち心肺停止傷病者	86 人 (6.2%)	59 人 (4.3%)	66 人 (5.0%)
心肺停止傷病者のうち心拍再開傷病者	4 人 (4.7%)	9 人 (15.3%)	6 人 (9.1%)
心肺停止傷病者のうち 7 日間生存者	1 人 (1.2%)	4 人 (6.8%)	0 人 (0.0%)
心肺停止傷病者のうち 30 日間生存者	2 人 (2%)	4 人 (7%)	2 人 (3.0%)



特 定 行 為 実 施 件 数

(%) は心肺停止傷病者に対して救急救命士が行った特定行為実施率

	平成 2 2 年	平成 2 3 年	平成 2 4 年
心肺停止傷病者	86人	59人	66人
器具を使用した気道確保	18件 (20.9%)	20件 (33.8%)	13件 (20%)
(内) 気管挿管	1件 (1.2%)	1件 (1.7%)	2件 (3%)
末梢静脈路確保	41件 (47.7%)	39件 (66.1%)	26件 (39%)
薬剤投与	7件 (8.1%)	1件 (1.7%)	9件 (14%)
電氣的除細動	12件 (14.0%)	7件 (11.9%)	7件 (11%)

救急救命士による救命処置領域件数

() は各科搬送件数

	平成 2 2 年	平成 2 3 年	平成 2 4 年
小児科領域の処置	0 件 (65)	3 件 (97)	0 件 (40)
産婦人科領域の処置	0 件 (6)	0 件 (9)	0 件 (3)
精神科領域の処置	0 件 (25)	14 件 (19)	0 件 (18)

ドクターヘリ要請事案件数調べ

() はドクターヘリによる搬送件数

	平成 2 2 年	平成 2 3 年	平成 2 4 年
急 病	－ 件 ()	－ 件 ()	0 件 (0)
交通事故	－ 件 ()	－ 件 ()	3 件 (2)
一般負傷	－ 件 ()	－ 件 ()	2 件 (1)
労働災害	－ 件 ()	－ 件 ()	1 件 (0)

各 種 実 習 ・ 研 修 等

	平成 2 2 年	平成 2 3 年	平成 2 4 年
救急救命東京研修所 入校	1 名	1 名	0 名
救急救命士就業前病院実習	1 名	1 名	1 名
気管挿管病院実習	1 名	1 名	1 名
救急隊員病院実習	3 名	3 名	3 名

救急に関する各種教育プログラムの職員受講状況

平成 2 5 年 4 月現在

名 称	概 要	実施機関	職員受講人数
B L S	一次救命処置	日本 A C L S 協会 日本循環器学会 日本蘇生協議会	29 人
B L S インストラクターコース	BLSインストラクター養成	アメリカ心臓協会 日本蘇生協議会	2 人
J P T E C	病院前外傷救護	日本救急医学会	16 人
I T L S	病院前外傷救護	ITLSJAPAN	3 人
I C L S	二次救命処置基礎	日本救急医学会	1 人
P S L S	脳卒中病院前救護	日本臨床救急医学会	30 人
M C L S	多数傷病者への医療対応トレーニングコース	日本集団災害医学会	1 人
B D L S	標準災害教育コース	N D L S グローバルトレーニングセンター日本事務局	3 人
E D L S	災害実践教育研修	救急災害研修機構	1 人

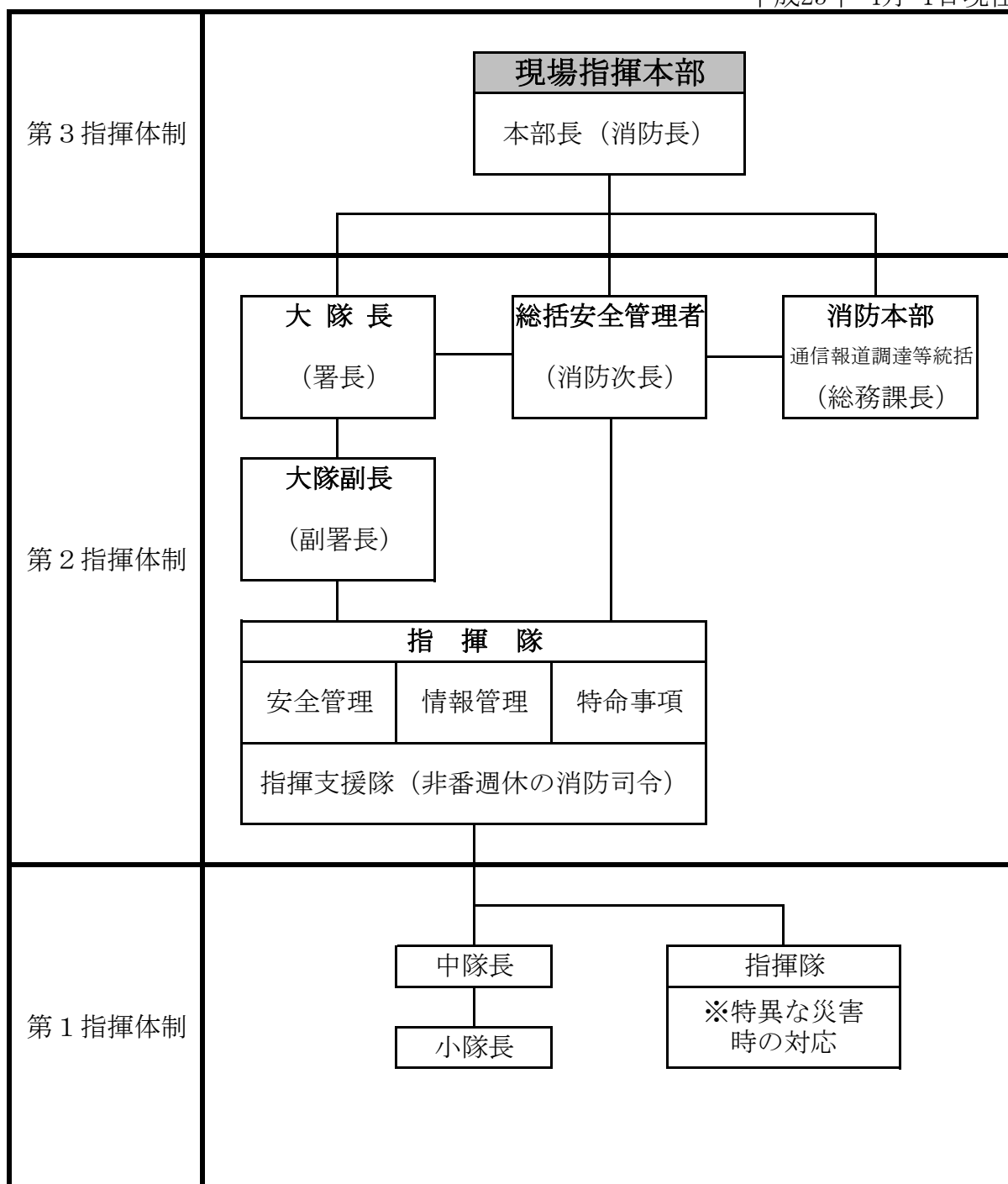
警防・救助



平成24年8月30日(木)に、「第50回秋田県総合防災訓練」が鹿角市に於いて開催されました。この訓練は、災害予防と災害応急対策等の防災活動が迅速・的確に実施できるようにするとともに、防災意識の高揚を図ることを目的としています。防災関係機関と地域住民等の総勢約7,000人が参加し、大地震により発生した24項目の訓練が実施されました。

安全管理及び指揮体制

平成25年 4月 1日現在



第 1 指揮体制：通常の救急救助事案や警戒事案など、2 個小隊以上が出場する場合は中隊長の指揮とする。

第 2 指揮体制：火災事案や 2 個中隊以上の救急救助事案などの場合は、大隊長（署長）の指揮とする。

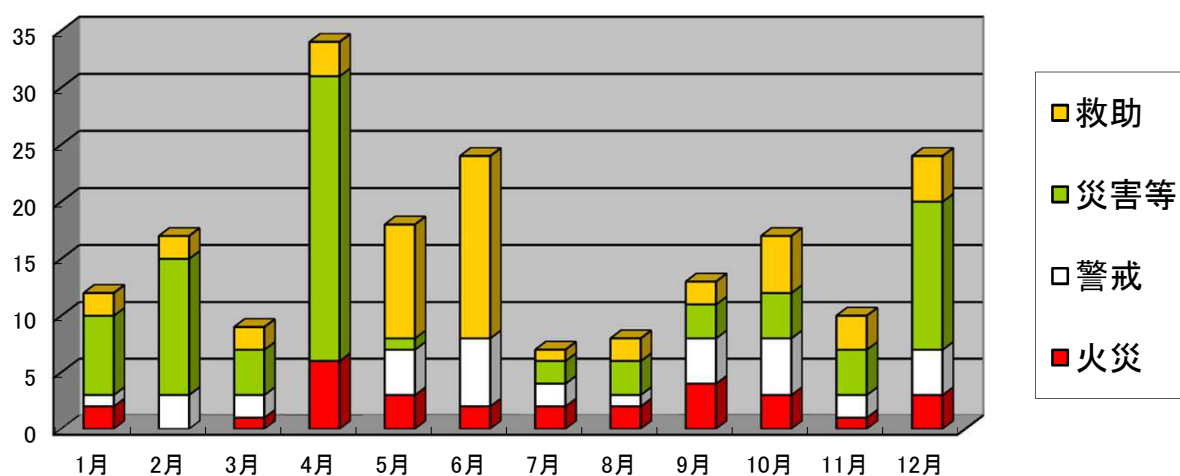
第 3 指揮体制：特異火災事案および大規模な救急救助事案などの場合は、本部長（消防長）の指揮とする。

警防活動状況

平成24年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災 出動 件数	建 物	2			4	3			1	1	3	1	3	18
	林 野				2		1			3				6
	車 両			1				2						3
	そ の 他						1		1					2
警 戒	危険物流出	1	2	1		2	2	1	1	1		1	2	14
	ヘリコプター 離着陸警戒					1	3	1		3	2			10
	偵 察		1	1		1	1				3	1	2	10
災 害 等	水 害			3				1						4
	台 風													0
	雪 害	5	3	1										9
	そ の 他	2	9		25	1		1	3	3	4	4	13	65
救 助	火 災													0
	交通事故		1	1	1	4	2			1	2	1	3	16
	水難事故	1			2	1								4
	自然災害													0
	機械による事故										1			1
	捜 索					4	13	1			2	1		21
	そ の 他	1	1	1		1	1		2	1		1	1	10
合 計		12	17	9	34	18	24	7	8	13	17	10	24	193

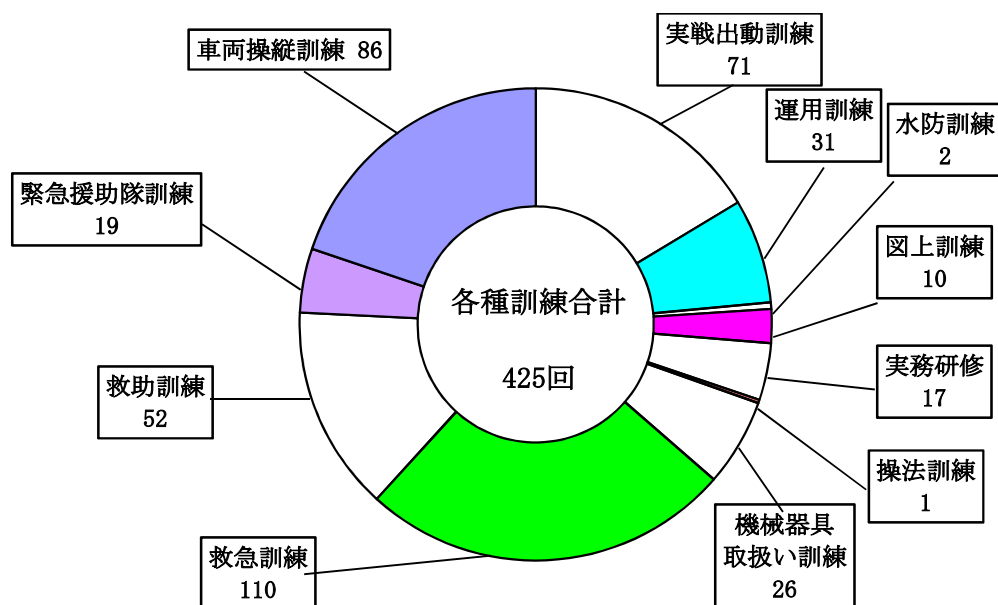
※ 上記の火災出動件数は火災統計上の件数とは一致しません。



各種訓練状況

平成24年

種 別	回 数 (回)
実 戦 出 動 訓 練	71
運 用 訓 練	31
水 防 訓 練	2
図 上 訓 練	10
実 務 研 修	17
操 法 訓 練	1
機 械 器 具 取 扱 い 訓 練	26
救 急 訓 練	110
救 助 訓 練	61
緊 急 援 助 隊 訓 練	19
車 両 操 縦 訓 練	86
合 計	434



○実戦出動訓練とは、火災を想定した実戦的な訓練です。

○運用訓練とは、車両等の操作・構造・性能を熟知するための訓練です。

○水防訓練とは、水災害に対処するための技術訓練です。

○図上訓練とは、作戦・計画を考え現場を想定した訓練です。

○操法訓練とは、基本動作を主とした規律・技術訓練です。

○機械器具取扱い訓練とは、現場で使用する資機材を熟知する訓練です。

○救急訓練とは、救急現場で必要とする知識・手技の向上訓練です。

○救助訓練とは、救助資機材を使用した救助隊の訓練及び消防救助技術大会へ向けての訓練です。

○緊急援助隊訓練とは、大規模災害等を想定した総合的な訓練です。

○車両操縦訓練とは、機関員養成及び運転技術向上のための訓練です。

救助体制

平成25年4月1日

隊数		合計	専任救助隊数	兼任救助隊数			
	省令第3条救助隊	1	0	1			
隊員数		合計	救助科修了者	消防長認定者			
	兼任救助隊員数	30	9	21			
車数		合計	取得年月日	型式	メーカー	原動機の種類	取得方法
	救助工作車数	1	平成15年2月5日	Ⅱ型	日本機械工業	ディーゼル	国庫補助

救助器具保有状況

平成25年4月1日

分類	名 称	消防本部	消防署	救助隊	十和田分署	小坂分署	省令別表第1の必要個数	省令別表第2の必要個数
一般救助器具	かぎ付はしご	3	1	1		1	1	
	三連はしご	6	3	1	1	1	1	
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤはしご	4	3		1			
	空気式救助マット	1		1			1	
	救命索発射銃	1		1			1	
	サバイバースリング又は救助用縛帯	5	1	2	1	1	1	
	平担架	1		1			1	
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	6		3	1	2	1	
	油圧スプレッダー	4		2	2		1	
	可搬ウィンチ	4	1	1	1	1	1	
	マンホール救助器具	1		1			1	
	マット型空気ジャッキ	3		3				1
	大型油圧スプレッダー	5	1	2	1	1		1
切断用器具	油圧切断機	3		2	1		1	
	エンジンカッター	3		1	1	1	1	
	ガス溶断器	2	1	1			1	
	チェーンソー	7	4	1	1	1	1	
	鉄線カッター	0					1	
	空気鋸	2	1		1			1
	大型油圧切断機	6	1	3	1	1		1
	空気切断機	1	1					1
破壊用器具	万能斧	6	3	1	1	1	2	
	ハンマー	7	2	2	2	1	1	
	携帯用コンクリート破壊器具	1		1			1	
	削岩機	1		1				1
	ハンマドリル	2		2				1
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	1		1			1	
	有毒ガス測定器	2		2			1	
	酸素濃度測定器	1		1			1	
	放射線測定器	7	7				1	

救助器具保有状況

平成25年4月1日

分類	名 称	消防本部	消防署	救助隊	十和田分署	小坂分署	省令別表第1の必要個数	省令別表第2の必要個数
呼吸保護用器具	空気呼吸器	30	16	5	5	4	5	
	空気補充用ボンベ	2	2				1	
	防塵マスク	9	9					5
	送排風機	2	1	1				1
	防毒マスク	20	14		3	3	5	
隊員保護用器具	耐電手袋	2		2			5	
	耐電衣	2		2				2
	耐電ズボン	2		2				2
	耐電長靴	2		2				2
	防塵メガネ	12	4	4	4		5	
	携帯警報器	17	13		4		5	
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	5	5				2	
	陽圧式化学防護服	5	5				5	
	耐熱服	4	4				2	
	個人線量計	16	16				2	
	特殊ヘルメット	2		2				2
除染器具	除染シャワー	1	1				1	
	除染剤散布器	2	2				2	
水難・山岳用器具	救命胴衣	26	5	5	12	4	5	
	救命浮環	4		2	1	1	10	
	救命ボート	3	1	1	1		1	
	バスケット型担架	1		1			1	
その他の救助器具	投光器一式	9	4	1	2	2	1	
	携帯投光器	10	9	1			5	
	携帯拡声器	13	5	2	3	3	2	
	応急処置用セット	14	8	1	2	3	1	
	緩降器	1		1				1
	ロープ登降機	2		2				1
	発電機	12	6	1	2	3		1

救助隊の訓練状況

平成24年

訓練種別	実施延回数	実施延人員	実施延時間
体力練成訓練	66 回	1,137 名	194 時間
ロープ基本・応用訓練	67 回	1,154 名	193 時間
検索・救助訓練	88 回	1,262 名	230.5 時間
各種救助器具取扱訓練	23 回	137 名	30 時間
各種救助事象想定訓練	17 回	139 名	11 時間
その他の訓練	8 回	68 名	8.5 時間

緊急消防援助隊 出動履歴

災害名	派遣先	派遣期間	派 遣 隊		隊数	人員
平成20年(2008年) 岩手・宮城内陸地震	宮城県 (栗原市)	平成20年 6月14日 ～平成20年 6月18日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊 5 名
					後方支援隊	1 隊 2 名
岩手県沿岸北部を 震源とする地震	岩手県 (活動無し)	平成20年 7月24日 ～平成20年 7月25日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊 5 名
					後方支援隊	1 隊 2 名
平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震 「東日本大震災」	岩手県 (宮古市)	平成23年 3月11日 ～平成23年 3月15日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊 5 名
		後方支援隊			1 隊 2 名	
		平成23年 3月12日 ～平成23年 3月15日		二次	消火隊	1 隊 4 名
		平成23年 3月15日 ～平成23年 3月19日			三次	救助隊
		平成23年 3月19日 ～平成23年 3月23日		救急隊		1 隊 3 名
				後方支援隊	1 隊 2 名	
		平成23年 3月23日 ～平成23年 3月27日		四次	救助隊	1 隊 5 名
	救急隊		1 隊 3 名			
	平成23年 3月27日 ～平成23年 3月31日	五次	後方支援隊	1 隊 2 名		
			救急隊	1 隊 3 名		
			後方支援隊	1 隊 2 名		
	平成23年 3月31日 ～平成23年 4月 4日	六次	救急隊	1 隊 3 名		
			後方支援隊	1 隊 2 名		
			七次	救急隊	1 隊 3 名	
	後方支援隊	1 隊 2 名				
宮城県 (登米市)	平成23年 4月25日 ～平成23年 4月28日	秋田県隊 第2派遣	四次	救急隊	1 隊 3 名	
				後方支援隊	1 隊 2 名	
東日本大震災への派遣合計					17 隊	51 名

緊急消防援助隊 秋田県隊登録車両

平成25年4月1日

車両区分			所属	国庫補助	緊援隊登録年	対空表示	NBC登録
消火隊	化学消防ポンプ	Ⅱ型	消防署	災害対応特殊化学 消防ポンプ自動車Ⅱ型	平成20年	秋田化 2	—
	水槽付消防ポンプ車	Ⅱ型	小坂分署	災害対応特殊水槽付 消防ポンプ自動車Ⅱ型	平成23年	秋田 P かづの	—
救助隊	救助工作車	Ⅱ型	消防署	救助工作車Ⅱ型	平成15年	秋田 R 4	BC登録
救急隊	高規格救急車		消防署	災害対応特殊 救急自動車	平成20年	秋田 A 1 5	—
後方支援	その他の支援車両	資機材 搬送車	消防署	—	平成25年	秋田鹿角搬送	—

緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練出動開催地

年度	開催地	訓練隊	訓練内容
平成12年	秋田県秋田市	消火隊	危険物火災対応訓練
平成18年	青森県八戸市	救助隊	多重衝突事故救出救護訓練
平成20年	秋田県大仙市	特殊災害支援隊 及び消火隊	野営訓練、特殊(BC)災害救出救護訓練 及び遠距離送水・延焼阻止線設定訓練
平成21年	山形県鶴岡市	救助隊	野営訓練及び多重損壊建物救出救護訓練

通 信

ホームページ

Welcome To F.D.Kazuno's Home Page
鹿角広域行政組合消防本部
Kazuno Wide Area Service Union Fire Department

出動件数 火災 4件 救助 19件
救急 472件 その他 55件

組織・業務 統計 消防年報 消防広報 キッズコーナー お問い合わせ
消防団 お知らせ 災害情報 試験・講習会 Download Link

消すまでは 心の警報 ONのまま

New 現在発生中の災害

火災の起こりやすい季節です。火の取り扱いに十分注意しましょう。	2013/05/06	現在、火災は発生しておりません。
	2013/05/05	火災は発生しておりません。
	2013/05/04	火災は発生しておりません。
	2013/05/03	火災は発生しておりません。
	2013/05/02	火災は発生しておりません。

新着情報

- 2013/04/02 雪解けも進み春らしくなり、晴れる日も多くなりました。この時期は空気が乾燥しやすくなります。火の取扱いは注意しましょう。
- 2013/02/25 平成24年火災・救急統計をアップしました。[こちらからどうぞ。](#)
- 2013/02/22 平成25年度 危険物取扱者試験、消防設備士試験の試験日が発表されました。北秋田市、男鹿市、仙北市でも受験できるようになりました。[試験日程はこちらからどうぞ。](#)
- 2013/01/28 心肺蘇生の手順が変更になりました。「AEDを使用した応急手当」のページ内容をガイドライン2010に対応した内容に更新しました。

消防広域化
携帯サイトへ Mobile
住宅火警報器について
AEDを使用した救命講習
正しい119番通報
子どもの救急
E-COLLEGE 防災・危機管理
消防防災博物館 www.bousaihaku.com
総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency

鹿角市・小坂町メール配信サービス

防災情報をはじめ、気象警報や火災事故・防犯・農林業・学校などに関する情報、市・町のイベント情報やお知らせ情報を配信します。

鹿角市・小坂町メール配信サービスの利用を希望される方は登録が必要です。
下記のメールアドレスへ空メールを送信して下さい。

鹿角市 e-kazuno@xpressmail.jp



鹿角市用QRコード



小坂町用QRコード

平成24年の気象状況

観測地点 秋田県鹿角市花輪字高井田64番地2 鹿角広域行政組合消防署

緯 度 北緯40度10分04秒

経 度 東経140度47分20秒

標 高 139. 2m

要素 \ 月			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年合計	年平均
気温℃	最高気温	24 年	4.3	5.1	13.2	27.4	27.2	32.7	34.1	34.9	35.1	24.3	15.7	7.6		21.8
		平年値	1.0	2.1	6.1	14.2	19.9	24.2	27.1	28.9	24.0	17.7	10.2	3.7		14.9
	最低気温	24 年	-16.0	-11.2	-10.8	-6.1	5.4	8.2	13.7	14.1	9.7	0.5	-3.5	-12.1		-0.7
		平年値	-6.3	-6.0	-3.3	2.3	8.0	13.5	17.7	19.0	13.8	6.6	1.0	-3.3		5.3
	平均気温	24 年	-3.9	-3.9	0.6	7.3	14.2	18.5	23.0	25.6	22.3	12.6	6.0	-1.8		10.0
		平年値	-2.6	-2.0	1.3	7.9	13.8	18.6	22.0	23.6	18.0	11.5	5.2	0.2		9.8
日照時間(時間)			83.6	107.9	125.1	212.0	173.1	240.2	205.9	236.1	183.4	156.0	58.5	52.8	1,834.6	152.9
降水量(mm)			52.5	58.5	166.0	80.5	93.5	58.0	227.0	53.0	41.5	130.5	225.5	132.0	1,318.5	109.9
降雪量(cm)			180	141	90	16	0	0	0	0	0	0	7	171	605	50.4
平均湿度(%)			70	68	69	60	65	63	68	69	70	70	91	95		71.5
平均風速(m/s)			1.8	2.0	1.8	2.1	1.7	1.7	1.6	1.4	1.3	1.5	1.9	1.6	20.4	1.7
最多風向			SW	S	S	S	S	NE	S	S	S	S	S	S		
大気現象(日)		霜													0	
		雷			1		1			3	1	1		2	9	
		霧			1		1	3			2	5	2		14	
		雨	1	3	10	8	14	10	9	8	6	20	22	9	120	
		雹(ヒョウ)												1	1	
		雪	22	24	18	4								7	20	

注*

注*

○ 平年値は、気象庁の観測値に基づき、昭和55年から平成22年まで(30年間)の平均値です

○ 降雨日数は、0. 5mm以上を観測した日数です

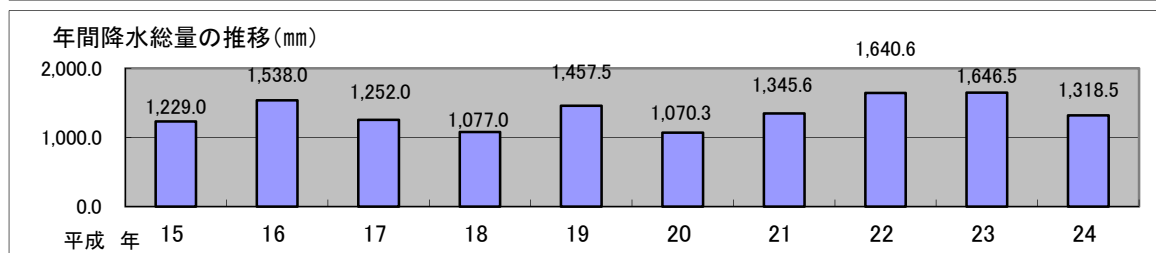
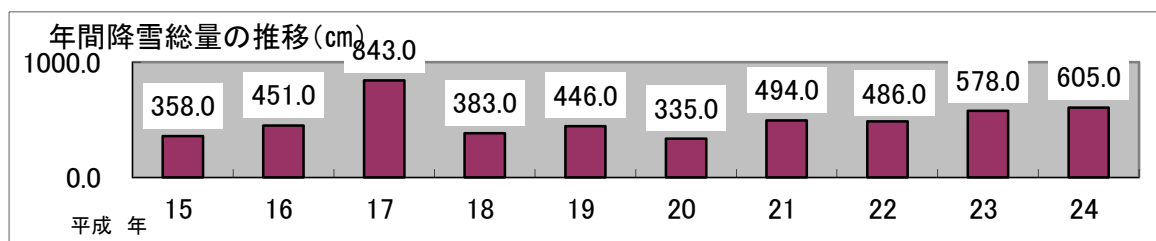
注* 12月で除しております

平成24年の極値

最高気温	9月17日	35.1 ℃
最低気温	1月12日	-16.0 ℃
最高気温30℃以上の日数(真夏日)		47.0 日
最高気温-0. 1℃以下の日数(真冬日)		40.0 日
最低気温-0. 1℃以下の日数(冬日)		134.0 日
最低気温-10℃以下の日数		14.0 日
最多降雨 1時間	7月16日 5時～6時	33.0 mm
最多降雨 24時間	7月16日	125.0 mm
最深降雪	12月26日	30.0 cm
最深積雪	2月2日	86.0 cm
最多日照日	6月26日	13.5 時間
不日照日	(年間日数)	34.0 日
最大日平均風速	4月4日	6.0 m/s
最大瞬間風速	4月4日	28.3 m/s
最多風向	S	126 日

過去10年間の気象の推移

平成 年 要素		15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
年平均℃	平均気温	9.8	10.6	9.8	10.0	10.2	10.3	10.0	10.5	9.8	10.0
	最高気温	15.0	15.2	21.0	22.1	15.4	15.6	21.7	22.6	21.5	21.8
	最低気温	5.3	6.0	5.6	5.7	5.8	5.9	5.4	0.6	-0.8	-0.7
極気温℃	最高気温	32.5	35.5	34.8	36.5	37.4	33.5	34.6	34.7	34.4	35.1
	最低気温	-13.2	-13.2	-11.6	-15.7	-9.3	-13.6	-14.7	-12.4	-15.6	16.0
平均湿度(%)		72.8	73.2	72.0	71.3	69.7	71.8	72.9	71.3	69.0	71.5
平均風速(m/s)		1.7	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7
総日照時間(h)		1,804.6	1,730.8	1,741.2	1,669.5	1,776.7	1,890.0	1,768.5	1,686.8	1,726.5	1,834.6
降水量(mm)	年総量	1,229.0	1,538.0	1,252.0	1,077.0	1,457.5	1,070.3	1,345.6	1,640.6	1,646.5	1,318.5
	一日最多	49.5	86.5	63.5	90.0	161.5	39.5	21.5	63.5	73.0	125.0
降雪量(cm)	年総量	358.0	451.0	843.0	383.0	446.0	335.0	494.0	486.0	578.0	605.0
	一日最多	24.0	30.0	40.0	24.0	30.0	40.0	32.0	35.0	25.0	30.0
	最深積雪量	64.0	70.0	100.0	100.0	55.0	45.0	67.0	82.0	105.0	86.0
降雪日数(日)		75.0	82.0	104.0	81.0	78.0	65.0	71.0	57.0	78.0	95.0
初雪(月日)		11月2日	11月17日	11月16日	11月29日	11月16日	11月19日	11月2日	10月26日	11月16日	11月18日
今冬根雪(月日)					H19.1.11	H19.12.3	H20.12.27	H21.12.7	H22.12.24	H23.12.16	H24.12.7
雪消え日(根雪)					H18.3.19	H19.3.28	H20.3.14	H21.3.29	H22.3.30	H23.3.30	H24.4.10



※ 各年、1月～12月の統計です

※ 降雪量の値は、寒候期(前年秋から当年春)の統計ではありません

気象観測開始(昭和35年10月1日)からの気象極値

・ 最も高い気温を観測したとき	平成12年7月31日	38.2 °C
・ 最も低い気温を観測したとき	昭和42年2月12日	-19.8 °C
・ 最も強い風が吹いたとき	平成16年9月8日	34.6 m/s
・ 1時間に最も多く雨が降ったとき	平成19年9月17日	42.0 mm
・ 1日(24時間)に最も多く雨が降ったとき	平成19年9月17日	161.5 mm (44年ぶり更新)
・ 1日(24時間)に最も多く雪が降ったとき	平成3年1月4日	53.0 cm
・ 最も多く雪が積もったとき	昭和49年2月12日	130.0 cm
	昭和49年2月14日	130.0 cm

119番・専用回線着信状況

期間:平成24年1月～12月

【単位:件】

種 別	件 数	うち携帯電話
火 災	33	18
救急・救助	1,018	225
その他災害	10	5
問い合わせ	91	33
いたずら	17	14
かけ違い	105	34
通 報 訓 練	171	4
携帯電話119番転送	2	2
東北自動車道管制室	10	0
試 験	193	13
合 計	1,650	348

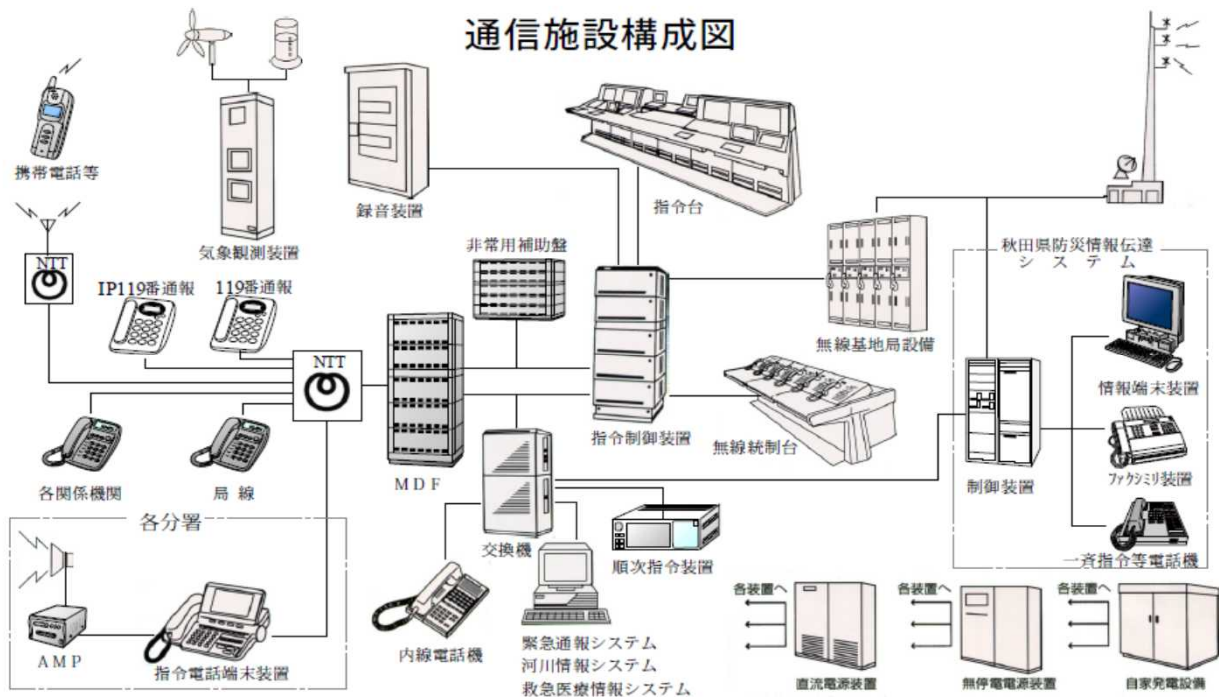
災害情報配信システム(メール配信)登録状況

平成25年4月1日現在

区 分		登録者(人)
消防職員		87
鹿角市消防団	消防団本部	15
	花輪地区団	95
	尾去沢地区団	50
	八幡平地区団	130
	十和田地区団	120
	機能別消防団	53
小坂町消防団		281
官公庁(市、町、議員等)		3,248
一 般		4,079
合 計		8,158

平成23年12月1日より新メール配信システムを開始しています。

消防緊急通信指令施設等の機器構成



主な装置名	型式／方式	機種	備考
指令装置	I 型	NEFAST-1000EX	1 台
指令台	複座式		
指揮台			
指令制御装置	アナログ制御		
指令制御装置IPADP	デジタル制御		IPデジタルアダプター
非常用指令設備			1 台
長時間録音装置	ADA方式	VR-700	HDD内蔵
署所端末装置			2 分署
非常電源装置			1 台
順次指令装置	オートダイヤル	ARS-702	1 式
放送設備		TOA	1 式
無線受信装置			2 分署
無線統制台	ハンドセット		4 波実装 (1CH～5CH、救急波実装)
携帯・IP位置情報システム	ビジネスパソコン		1 式
非常電源装置	2.7kVA		エンジン式
気象観測装置		OKSAM-2000	1 式
データメンテナンス装置	ビジネスパソコン		1 式
有線設備			
構内交換機	デジタル制御	APEX-3600i	1 式
県総合防災システム			1 式 (衛星)
救急医療システム			1 式
事務用ファクシミリ			1 式 各署所に設置
災害情報配信システム	ビジネスパソコン		1 式
高齢者緊急通報システム	ビジネスパソコン		1 式

無線機保有一覧

消防本部・消防署

平成 25 年 4 月 1 日現在

番号	無線局種別	識別信号	空中線電力	備 考
1	固定／基地局	鹿消本部	1 0 W	第 1 装置
2	固定／基地局	鹿消本部	1 0 W	第 2 装置
3	固定／基地局	鹿消本部	1 0 W	第 3 装置
4	基地局	鹿消本部	1 0 W	第 4 装置
5	移動局	鹿消指揮 1	1 0 W	指揮車第 1 装置
6	移動局	鹿消広報 1	1 0 W	広報車
7	移動局	鹿消本部広報 1	1 0 W	本部広報車
8	移動局	鹿消本部広報 2	1 0 W	消防団広報車
9	移動局	鹿消ポンプ 1	1 0 W	ポンプ 1 号車
10	移動局	鹿消ポンプ 2	1 0 W	ポンプ 2 号車
11	移動局	鹿消救急 1	1 0 W	救急 1 号車
12	移動局	鹿消救急 2	1 0 W	救急 2 号車
13	移動局	鹿消救助 1	1 0 W	救助工作車
14	移動局	鹿消化学 1	1 0 W	化学車
15	移動局	鹿消搬送 1	1 0 W	資器材搬送車
16	移動局	鹿消水槽 1	1 0 W	水槽車
17	移動局	鹿消 1 7 ・ 1 8	1 0 W	1 8 は指揮車第 2 装置
18	移動局	鹿消 1 0 ～ 1 6 ・ 1 9 ～ 2 8	5 W	携帯無線

十和田分署

番号	無線局種別	識別信号	空中線電力	備 考
1	固定／基地局	鹿消十和田	1 0 W	第 1 装置 CH切替式
2	固定／基地局	鹿消十和田	1 0 W	第 2 装置 CH切替式
3	移動局	鹿消十和田救急 1	1 0 W	救急車
4	移動局	鹿消十和田ポンプ 1	1 0 W	ポンプ車
5	移動局	鹿消十和田広報 1	1 0 W	広報車
6	移動局	鹿消十和田 1 0 ～ 1 6	5 W	携帯無線

小坂分署

番号	無線局種別	識別信号	空中線電力	備 考
1	固定／基地局	鹿消小坂	1 0 W	第 1 装置 CH切替式
2	固定／基地局	鹿消小坂	1 0 W	第 2 装置 CH切替式
3	基地局	鹿消北坂梨	1 0 W	坂梨トネル ネット管理
4	基地局	鹿消南坂梨	1 0 W	坂梨トネル ネット管理
5	移動局	鹿消小坂ポンプ 1	1 0 W	ポンプ車
6	移動局	鹿消小坂広報 1	1 0 W	広報車
7	移動局	鹿消小坂救急 1	1 0 W	救急車
8	移動局	鹿消小坂 1 0 ～ 1 6 ・ 5 5	5 W ・ 1 W	携帯無線 5 5 は 1 W

消防団



鹿角市（かづのし）

鹿角市の「かづの」を図案化したもので、融和団結、円満平和及び伸びゆく鹿角を表したものです。

市の花	ベニヤマザクラ
市の木	ナナカマド
市の鳥	声良鶏



小坂町（こさかまち）

小坂町出身の故福田豊四郎画伯の案を図案化したもので、中央の星形は、小坂の「小」をイメージし、周辺の途切れたリングは、鹿角郡の「鹿角」の鹿の角を表した

町の花	アカシア
町の木	ベニヤマザクラ
町の魚	ヒメマス

消防団装備・階級別実員

《鹿角市消防団》

定数:892人

平成25年4月1日 現在

区 分 所 属	地 区	団 員										機 械				施 設		
		団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機 能 別 団 員	計	消 防 ポン プ	自 動 車	小 型 動力 ポン プ	積 載 車	器 具 置 場 数	ホ ー ス 乾 燥 塔	ホ ー ス	
消防団本部		1	4				※ 2		※14		21							
第1分団	花 輪			1	1	2	4	22			30	2			2	2	85	
第2分団				1	1	2	5	34			43		5 (1)	3	5	5	171	
第3分団				1	1	2	7	43			54	1	5	3	6	5	161	
第4分団				1	1	2	6	42			52		6	5 (1)	6	6	167	
第5分団	尾 去 沢			1	1	1	5	26			34	1	2		3	3	108	
第6分団				1	1	2	6	27		5	42	1	3	1	4	4	129	
第7分団	八 幡 平			1	1	2	8	52			64	1	5	2 (1)	5	4	212	
第8分団				1	1	2	6	43			53		6	2	6	6	134	
第9分団				1	1	2	8	44		3	59	2	2		4	3	158	
第10分団				1	1	2	6	42		6	58		5	2	5	5	143	
第11分団	十 和 田			1	1	2	8	46		3	61	1	6	1	7	7	198	
第12分団				1	1	4	6	33	※ 1		46	1	4 (1)	4	4	4	149	
第13分団				1	1	1	4	13			20		3	1	4	4	77	
第14分団				1	1	3	7	21	※ 6	7	46	1	5	2	6	6	215	
第15分団				1	1	3	5	28			38		5	3 (1)	5	5	133	
第16分団				1	1	3	9	43		5	62	2	5	1	6	6	181	
第17分団				1	1	3	7	26		5	43		7	3	7	7	141	
合 計		1	4	17	17	38	109	585	※21	34	826	13	74 (2)	33 (3)	85	82	2,562	

※女性団員数 ()は全自動型 ()は軽車両

《小坂町消防団》

定数:170人

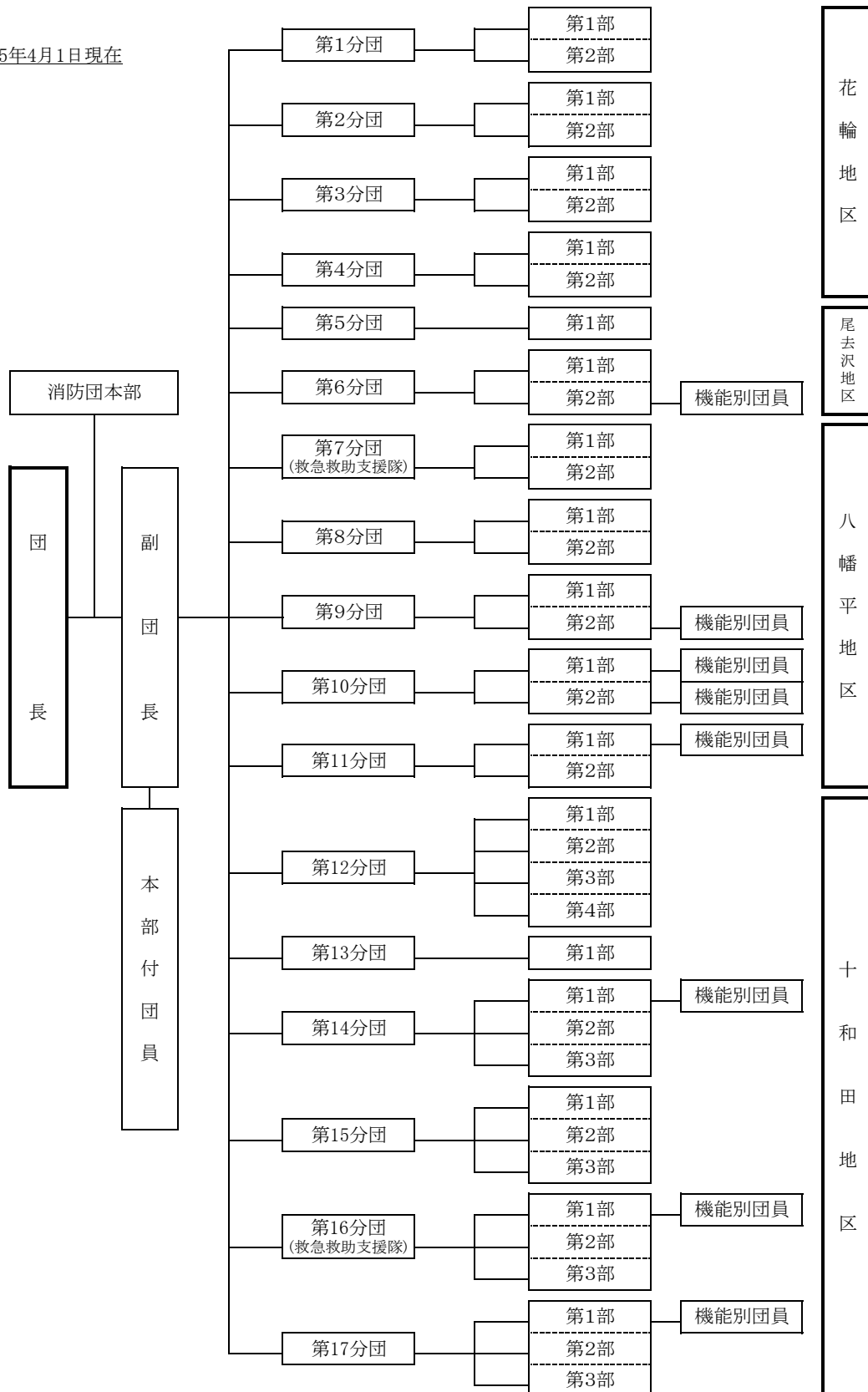
平成25年4月1日 現在

区 分 所 属	団 員										機 械			施 設			
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 長	副 本 部 長	班 長	副 班 長	団 員	計	消 防 ポン プ	自 動 車	小 型 動力 ポン プ	積 載 車	器 具 置 場 数	ホ ー ス 乾 燥 塔	ホ ー ス
消防団本部	1	1			1	1	1			5							
第1分団			1	1			4	5	26	37			5	2 〈2〉	5	5	68
第2分団			1	1			4	4	20	30	1	3	〈2〉		4	4	54
第3分団			1	1			3	3	10	18	1				1	1	29
第4分団			1	1			4	4	29	39	1	3	〈3〉		4	4	107
第5分団			1	1			5	5	22	34			5	3 〈2〉	5	5	70
合 計	1	1	5	5	1	1	21	21	107	163	3	16	5 〈9〉		19	19	328
定 数	1	1	5	5	1	1	43		113	170	(人) 〈 〉は軽車両						

《鹿角市消防団組織図》

◎ 組 織 図

平成25年4月1日現在



《救急救助支援隊》 本市は広大な面積を有することから、消防署から遠距離で発生した救急及び救助を必要とする交通・災害事故等に対応するため、消防本部と消防団が連携を持ち、一体となって救急救助活動を行うことを目的としています。（八幡平坂比平から岩手県境、大湯中滝から青森県境）

《機能別団員》 消防団員の活動を全て行うのではなく、活動を限定して一定の役割を行う団員を言います。

《鹿角市消防団管轄区域》

平成25年4月1日

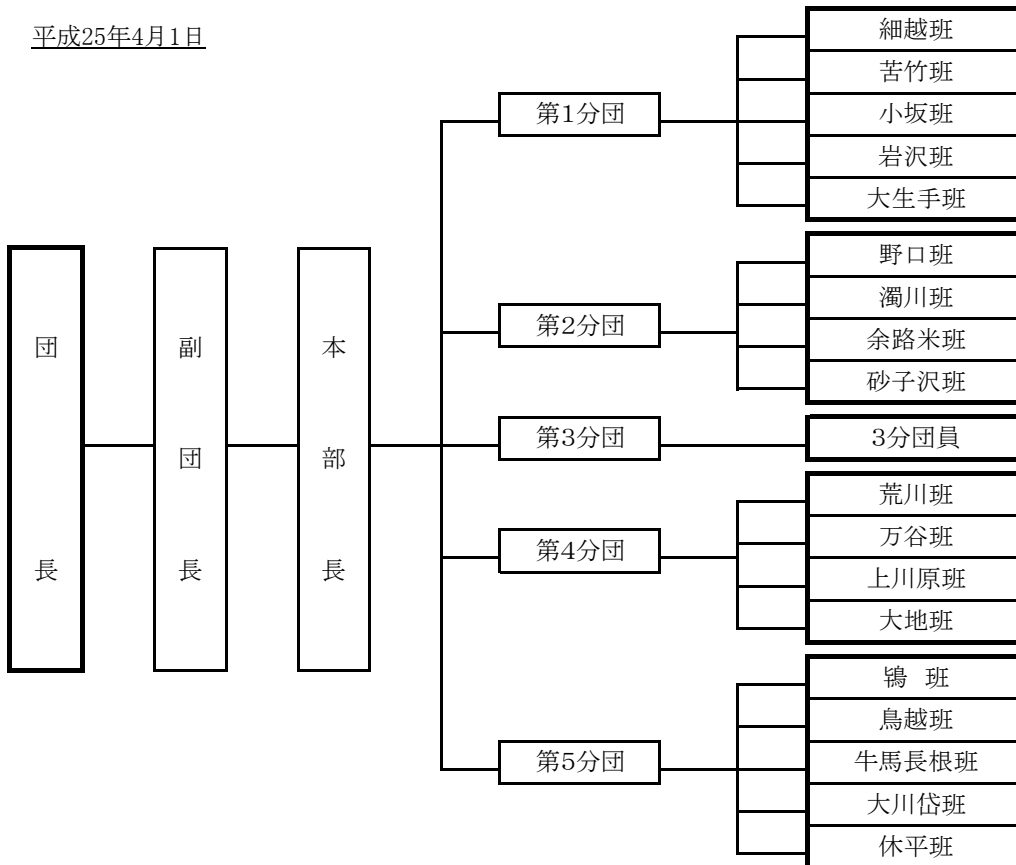
分団名	管 轄 区 域	地区
第1分団	市街地一円 東山 柏木森	花 輪
第2分団	鏡田 用野目 狐平 下川原 高屋 花軒田	
第3分団	小深田 乳牛 東町 西町 大曲 高市 鶴田 上台 長野	
第4分団	小平 新斗米 級ノ木 館 寺坂 小枝指 雁府	
第5分団	尾去 西道口 下モ平 蟹沢 新山 城山 上山 水晶山 下夕町	尾 去 沢
第6分団	山方 中央通り 松子沢 瓜畑 軽井沢 市街地 山神社 新堀市営住宅 上新田 中新田 下新田	
第7分団	谷内 永田 熊沢 水沢 深 坂比平 八幡平温泉郷	八 幡 平
第8分団	夏井 小割沢 林崎 樫内 長牛 桃枝	
第9分団	小豆沢 碓 湯瀬	
第10分団	大里 葛岡 玉内 松館 石鳥谷 黒沢	
第11分団	三ヶ田 長内 荒町 野尻 白欠 大久保 長嶺 川部 和田	十 和 田
第12分団	館 古町 下小路(上・中・下) 城ノ下 南 五軒町 横丁 萱町 陣場 上町 中町 下町 川原 高田 土ヶ久保 中野 蟹沢住宅 蟹沢 甚兵ヱ川原 山田 瀬田石 柏野	
第13分団	高清水 長者久保 上芦名沢 下芦名沢	
第14分団	室田 冠田 曲谷地 沢尻 錦丁 古川 浜田 下野添団地 根市戸 五軒屋 申ヶ野 神田	
第15分団	石野 松山 大欠 土深井	
第16分団	大清水 田代 戸倉 熊取平 大平 中滝 白沢 川上 箒畑 堀内 四ノ岱 四 ノ岱住宅 荒瀬 中岱 上ノ湯 新道 湯ノ岱 中田 上町 中町 丁内 下ノ湯 松原 川 原の湯 中川原 腰廻 関上 大川原	
第17分団	風張 宮野平 一本木 根市 二本柳 保田 中草木 下草木 新田 丸館	

《鹿角市消防団員階級別報酬及び諸手当》

平成25年4月1日

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年 報 酬(円)	67,000	53,800	35,900	31,700	21,500	20,400	19,100
定 年(歳)		63	60	60	60	60	60
出動手当(円)	1回につき ￥1,900 (水・火災等に出場した者)						
訓練手当(円)	1回につき ￥1,900 (訓練に出場した者)						
警戒手当(円)	1日または1夜につき ￥1,900 (特に警戒を命ぜられた者、または夜警に従事した者)						
技術手当(円)	消防ポンプ自動車1台につき (月額) ￥3,200 (管理保守する者)						
	小型動力ポンプ付積載車1台につき (月額) ￥2,200 (管理保守する者)						
	小型動力ポンプ1台につき (月額) ￥1,600 (管理保守する者)						

《小坂町消防団組織図》



《小坂町消防団管轄区域》

平成25年4月1日

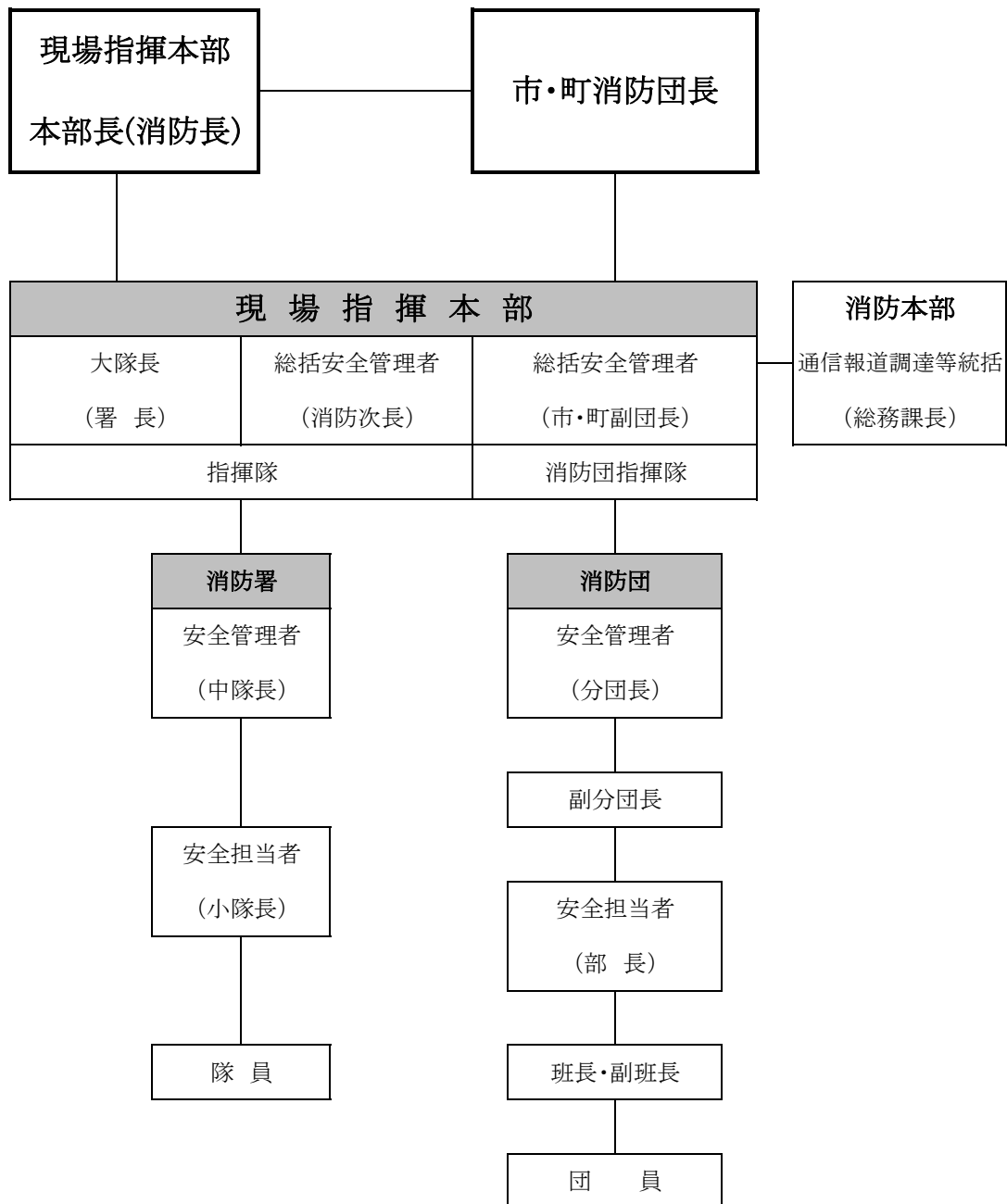
分団名	管 轄 区 域
第1分団	上小坂 中小坂 下小坂 岩沢 大生手 藤倉団地 古苦竹 細前田 細越
第2分団	野口 濁川 余路米 砂子沢
第3分団	町部一円
第4分団	万谷 荒川 上川原 大地 つつじ平 道作団地
第5分団	鳥越 鴝 牛馬長根 狐崎団地 大川岱 休平

《小坂町消防団員階級別報酬及び諸手当》

平成25年4月1日

	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	副部長	班 長	副班長	団 員
年報酬(円)	60,000	48,200	32,200	28,500	19,300	17,700	18,300	17,700	17,200
定 年(歳)	な し								
出場手当(円)	1回につき 円1,600 (水・火災等に出場した者)								
訓練手当(円)	1回につき 円1,600 (訓練に出場した者)								
警戒手当(円)	1日または1夜につき 円1,600 (特に警戒を命ぜられた者、または夜警に従事した者)								
技術手当(円)	消防ポンプ自動車1台につき (月額) 円3,200 (管理保守する者)								

消防本部と消防団との安全管理体制



◎ 秋田県消防操法(訓練)大会成績

回数	年度	ポンプ車操法の部		小型ポンプ操法の部		全国大会出場及び成績
		出場分団	成 績	出場分団	成 績	
1	S37					
2	S38					
3	S39			八幡平村第5分団		
4	S40					
5	S41					
6	S42					
7	S43			八幡平村団	※	第1回 小型ポンプ出場
8	S44			八幡平村団		
9	S45			十和田町団		第2回
10	S47			錦木第4分団	優勝※	第3回 小型ポンプ出場
11	S49	八幡平第1分団		錦木第4分団	優勝※	第4回 小型ポンプ出場
12	S50	八幡平第1分団	優勝	錦木第4分団	2位	
13	S51	八幡平第1分団	優勝	錦木第2分団	2位	第5回
14	S52	毛馬内第1分団	2位	錦木第4分団	優勝	
15	S53	毛馬内第1分団	優勝	八幡平第1分団	2位	第6回
16	S54	錦木第1分団	優勝	錦木第4分団	2位	
17	S55	錦木第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	優勝※	第7回 小型ポンプ出場
18	S56	八幡平第1分団第1部	優勝	八幡平第4分団第2部	2位	
19	S57	八幡平第1分団第1部	優勝※	花輪第4分団第1部	優勝	第8回 ポンプ車出場
20	S58	八幡平第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	優勝	
21	S59	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	2位	第9回
22	S60	錦木第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	優勝	
23	S61	錦木第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	第10回
24	S62	錦木第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	8位	
25	S63	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	第11回 小型ポンプ準優勝
26	H 元	錦木第1分団第1部	優勝	八幡平第1分団第2部	優勝	
27	H 2	錦木第1分団第1部	5位	錦木第1分団第3部	3位	第12回
28	H 3	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	
29	H 4	八幡平第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	5位	第13回
30	H 5	錦木第1分団第1部	5位	錦木第1分団第3部	2位	
31	H 6	錦木第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	5位	第14回
32	H 7	八幡平第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	2位	
33	H 8	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	5位	第15回
34	H 9	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	2位	
35	H10	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	6位	第16回
36	H11	錦木第1分団第1部	6位	尾去沢第1分団第1部	3位	
37	H12	八幡平第1分団第1部	3位	尾去沢第1分団第1部	5位	第17回
38	H13	八幡平第1分団第1部	5位	尾去沢第1分団第1部	4位	
39	H14	八幡平第1分団第1部	7位	尾去沢第1分団第1部	2位	第18回
40	H15	小坂町消防団第4分団	優勝	尾去沢第1分団第1部	7位	
41	H16	小坂町消防団第4分団	優勝	小坂町消防団第4分団	4位	第19回
42	H17	小坂町消防団第4分団	3位	小坂町消防団第4分団	5位	
43	H18	小坂町消防団第4分団	2位	小坂町消防団第4分団	10位	第20回
44	H19	小坂町消防団第4分団	3位	小坂町消防団第4分団	7位	
45	H20	小坂町消防団第4分団	2位	鹿角市消防団第5分団第1部	4位	第21回
46	H21	小坂町消防団第4分団	3位	鹿角市消防団第5分団第1部	2位	
47	H22	小坂町消防団第4分団	2位	鹿角市消防団第5分団第1部	5位	第22回
48	H23	小坂町消防団第4分団	優勝	鹿角市消防団第5分団第1部	優勝	
49	H24	鹿角市消防団第5分団第1部	2位	小坂町消防団第4分団	4位	第23回

※ 全国大会出場(隔年開催)

災害記録



集中豪雨

平成19年9月17日、秋田県北部を中心とする大雨により道路が陥没した。

自然災害

平成9年5月11日、大規模な土砂災害が発生し、温泉宿16棟を飲み込む。



火災

昭和55年6月12日、鉾山選鉱所火災が発生し、鹿角市消防団は特命出動により全消防団が出動する。

災害記録

西 暦	年 号	種 別	記 録
1930	昭和5年	建物火災	錦木村土深井で12棟を焼失。
1935	昭和10年	建物火災	4月9日 毛馬内町萱町から出火。住家36棟、非住家10棟全焼。 (川原の大火)
		建物火災	6月17日 小坂町元山元神下から出火。87戸で23棟焼失。り災者490名。
		洪水	小坂川が氾濫し大洪水となり大被害。8月23日、24日の両日で流失家屋14棟 損壊家屋60棟、浸水家屋824棟。他に道路、橋、耕地などが被害。被害額は 1,036千円。
		堤防決壊	8月24日 尾去沢鉦山用水取入口堤防が決壊し、流失住家12棟、全半壊住家 35棟に被害が出た。また、田圃135町歩、畑2町歩を流失。
1936	昭和11年	ダム決壊	11月20日 3時40分頃、尾去沢鉦山中沢ダムが決壊。中沢・春木沢・瓜畑・ 笹小屋・新堀・新山・下モ平・蟹沢・西道口の9集落に流出し、死者374名、 住家、非住家合わせて310棟を流失。
1938	昭和13年	雪 害	1月26日 小坂町立実科高等女学校が雪のため倒壊、小坂小学校児童の死者 8名、重傷10名、軽傷25名、訓導(教員)重傷1名。
1941	昭和16年	林野、建物火災	5月15日 小坂町細越で山火事から延焼。23戸で50棟を焼失。
1947	昭和22年	建物火災	3月18日 花輪町旭町の製材所の火災で延焼防止活動中、倒壊した建物の下 敷きとなり死者4名、重軽傷者30名。
		洪水	8月4日 米代川が大洪水となり大被害。堤防決壊40箇所あまり、住家流失2 棟、床上浸水多数、道路決壊、土砂崩れ多数、田畑の流失23町歩あまり、冠 水耕地60町歩あまり。(死亡者あり)
1949	昭和24年	航空機墜落	3月18日 花輪西山高瀬館跡地に米軍機が墜落、アメリカ人兵士1名死亡。
		建物火災	3月21日 大湯町立大湯小学校1棟全焼。
		建物火災	4月9日 小坂町西渡ノ羽鉦山社宅で11棟全焼。
		建物火災	10月2日 花輪駅機関区1棟全焼。損害額1,156千円。
		噴 火	八幡平焼山爆発。泥流、火山灰噴出。
		建物火災	11月8日 宮川村小豆沢、大日堂大日霊貴神社全焼。
		建物火災	12月31日 小坂町古館の小坂鉦山病院で火災。本館・東西病棟焼失、焼失面 積700坪、損害額30,000千円。
1950	昭和25年	建物火災	4月9日 小坂町西渡ノ羽鉦山社宅で11棟全焼、2棟半焼、り災世帯49世帯、 り災者279名、被害額10,000千円。
		建物火災	柴平村東町で大火。住家・非住家23棟全焼。
		噴 火	八幡平焼山で爆発。この噴火による泥土が熊沢川に流入し水田に大被害。 曙村荒町、三ヶ田、大久保周辺の田圃100町歩に堆積。
1951	昭和26年	建物火災	花輪町川原町で6棟全焼。
		建物火災	尾去沢鉦山資材倉庫7棟全焼。
		建物火災	3月 柴平農協事務室から出火。132坪全焼、米倉庫半焼、米2,000俵焼失。
		水 害	7月21日 大湯川堤防決壊、住家7棟流失。21日に降りだした雨で各河川が 増水し、崖崩れ、道路決壊が続出する。中でも下ノ湯、川原ノ湯の被害が 多く、床上浸水260棟、床下浸水781棟、田畑の流失30町歩、冠水300町歩、 柴平以北の橋梁破損流失12箇所。
		水 害	7月21日 荒川川・汁毛川が氾濫。護岸21箇所、道路11箇所、橋12箇所のほ か耕地が被害、被害額200,000千円。
		交通事故	9月6日 第三回鹿角郡消防連合訓練大会(小坂町営陸上競技場開催)出場途 上、小坂町白岩地区において毛馬内第3分団手引動力ポンプ1台と毛馬内第 5分団腕用ポンプ1台を積載した国鉄トラックが転落し、乗車中の消防団員 17名が振り落とされ死傷者を出す。
		噴 火	3月 八幡平焼山で一部爆発。
		林野火災	花輪町大久保で天皇陛下記念造林地15町歩焼失。

西 暦	年 号	種 別	記 録
1952	昭和27年	建物火災 建物火災	花輪町用野目で住家3棟、非住家2棟、合計5棟を全焼。損害額5,340千円。 5月14日 小坂町尾樽部で火災が発生し、役場・山手社宅に延焼。全焼9世帯、り災者43名、被害額53,730千円。
1953	昭和28年	車両、建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災	国鉄陸中花輪駅で客車1両と待合室1棟全焼。損害額2,250千円。 4月9日 七滝村大地で住家12棟全焼。り災12世帯95名、被害額14,550千円。 5月 柴平村小平で住家3棟、非住家4棟全焼。 5月 毛馬内町高田で住家8棟焼失。 5月 大湯銚子発電所住宅5棟全焼。
1954	昭和29年	建物火災 建物火災 建物火災 落 雷 建物火災 建物火災 建物火災	花輪町新町で放火により住家4棟全焼。損害額7,480千円。 花輪町狐平で製材所1棟、住家1棟焼失。 柴平村鶴田の製材所120坪、材木その他資材焼失。損害額5,000千円。 9月12日 曙村杉山で落雷により住家3棟、非住家2棟全焼。 12月19日 尾去沢町下モ平で住家4棟、非住家1棟全焼。 12月 尾去沢町蟹沢でバラック建長屋(5戸)で1棟焼失。
1955	昭和30年	水 害 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災	宮川村小豆沢で住家3棟、非住家4棟が全焼。 6月 八幡平村で水害が発生し堤防決壊多数、床上浸水も多数。 7月18日 大湯町川原ノ湯で劇場など6棟全焼。 8月13日 十和田町毛馬内高田で住家3棟、非住家1棟全焼。 8月 十和田町錦木申ケ野で住家9棟、非住家4棟全焼。り災者71名、損害額10,440千円。 花輪町久保田で8棟全焼。 大湯町で製材工場火災、工場と住家2棟焼失。り災世帯8世帯、損害額5,000千円。
1956	昭和31年	林野火災 林野火災 水 害 建物火災	4月 十和田町山根で山林火災発生。民有林103町歩焼失。損害7,000千円。 5月21日 尾去沢町十文字の山林から出火。花輪町花軒田にかけて国有林及び民有林合わせて10町歩焼失。 7月23日 花輪町120mm、八幡平村200mmの豪雨により銭川温泉、玉川・両国両鉱山住宅2棟全壊。夏井橋、長嶺橋、夜明島橋、水沢橋等熊沢川全橋10箇所流失、栃木川原、赤渕等護岸決壊、水田10町歩以上冠水被害。長牛橋、用野目橋、高屋橋が損傷。損害額30,000千円以上。 11月21日 小坂町銀山町で火災。住家23棟、非住家4棟全焼。り災者101名損害額29,800千円。
1957	昭和32年	林野火災 建物火災	十和田町崩森国有林で山林火災発生。焼失面積8ha。 5月3日 小坂町荒川で住家26棟、非住家17棟全焼。り災世帯27世帯、り災者159名、被害額50,000千円。
1958	昭和33年	建物火災 建物火災 建物火災 建物火災	2月9日 十和田町毛馬内の寺院全焼。 3月24日 八幡平村大里(上村)で住家6棟、非住家7棟全焼。 4月5日 花輪町鶴田で住家2棟、非住家2棟全焼。 11月21日 小坂町銀山町で共同住宅23棟、非住家4棟全焼。り災者101名。
1959	昭和34年	建物火災 建物火災	12月12日 放火により花輪町小坂で住家1棟全焼。 十和田町錦木申ケ野で大火。8棟全焼。
1961	昭和36年	建物火災 建物火災 洪水 建物火災 建物火災 林野火災	3月20日 花輪町新町で住家2棟、工場1棟全焼。負傷者5名、損害額7,749千円。 4月3日 花輪町柴内高市で住家2棟、非住家1棟全焼。死者1名、損害額1,383千円。 4月4日 異常高温による雪解けと暖風に豪雨が重なり河川が増水。花輪町で米代川が増水し用野目橋流失、狐平・下川原護岸決壊。八幡平村赤渕で水田4,040haが冠水。小坂町で若木立橋流失。合計損害額4千数百万円。 5月5日 八幡平村蛇沢で住家3棟、非住家2棟全焼。 5月24日・6月5日 連続放火により花輪町小深田で火災(ボヤ)発生。 5月25日 花輪町雁府で山林火災発生。焼失面積4.5ha。

西 暦	年 号	種 別	記 録
1962	昭和37年	建物火災	5月25日 八幡平村湯瀬のホテル食堂炊事場でプロパンガスの配管工事中、ガス漏れによる爆発火災。死者1名、重軽傷者5名。
		建物火災	8月10日 花輪町東山で住家1棟、非住家2棟全焼。損害額1,029千円
		林野火災	5月12日 十和田町大湯中滝で山林火災発生。14日夜まで続き4000ha焼失。
		林野火災	5月14日 花輪町柴内で山林火災発生。国有林5ha焼失。
1963	昭和38年	建物火災	5月17日 尾去沢鉦山で住家6棟全焼。
		建物火災	1月11日 十和田町大湯上町で住家4棟全焼。
1965	昭和40年	建物火災	2月 花輪町高屋で住家2棟、非住家1棟半焼、鶏2000羽、ヒナ鳥13000羽が焼死。
		林野火災	5月 花輪町大曲水無沢町有林50ha焼失。
		建物火災	5月25日 連続放火により花輪町舟場で住家1棟全焼、住家、非住家3棟半焼 負傷者1名、損害額3,299千円
		建物火災	6月13日 連続放火により花輪町舟場で住家1棟全焼。住家、非住家4棟半焼 損害額1,034千円
1966	昭和41年	建物火災	7月10日 連続放火により花輪町立花輪第一中学校校舎2棟全焼。焼失面積 1,848㎡、損害額17,000千円。
		台 風	能代沖を通過した台風23号は、風速20mの強風を伴い稲の倒伏45ha、果樹の落下2万箱、被害額40,000千円。
		建物火災	11月10日 花輪町中町で住家3棟全焼、住家2棟半焼、損害額12,131千円。
		建物火災	5月23日 花輪町谷地田町で住家2棟、非住家1棟全焼、住家・非住家6棟半焼、死者1名、損害額3,389千円。
1967	昭和42年	水 害	8月12日 小坂町川上地区で河川が増水、住家1棟流失。土木及び農地被害 37箇所、損害額113,950千円。
		建物火災	9月6日 花輪町立柴内小学校校舎1棟全焼。焼失面積2,450㎡。原因はカマドの煙突の破損、損害額19,453千円。
		建物火災	3月24日 花輪町下タ町の整備工場で火災、死者3名。
		建物火災	十和田町浜田で住家1棟、倉庫185.6㎡全焼、損害額2,500千円。
1968	昭和43年	建物火災	5月31日 花輪町花軒田で住家3棟、非住家1棟全焼。損害額5,232千円。
		建物火災	10月 花輪町鶴田で製材工場330㎡1棟、住家85㎡1棟全焼。
		建物火災	十和田町大湯川原ノ湯でアパート火災。1棟171.6 ㎡（6世帯）全焼、損害額4,000千円。
		建物火災	尾去沢町尾去で鶏舎と作業小屋396㎡全焼。鶏300羽、豚2頭焼死。
1969	昭和44年	建物火災	2月19日 花輪町舟場で住家2棟全焼、住家2棟半焼、損害額8,504千円。この火災で消火活動中の消防職員1名が殉職。
		建物火災	八幡平村黒沢で住家1棟、非住家3棟全焼。損害額4,000千円。
		地 震	5月16日 9時50分頃、北海道十勝沖を震源地とする地震が発生。秋田県では震度4を記録し、鹿角地区では1日に数十回の余震が1週間程度続いた。この地震により花輪町の大堰水路の水が横揺れし、道路へ水が飛散した。また、花輪小学校をはじめ住家の一部が破損し土蔵等の壁が崩れるなどの被害が続出した。
		建物火災	8月3日 尾去沢町下モ平で住家7棟、非住家1棟全焼。損害額29,750千円。
		建物火災	4月24日 花輪町大町で3棟全半焼。
		林野火災	5月4日 花輪町甘露の山林15ha焼失。
		林野火災	5月7日 尾去沢町で水晶山国有林植樹祭記念造林地2ha焼失。
		建物火災	花輪町横町で3棟全半焼。損害額15,000千円。
		交通事故	8月15日 花輪町新町の火災（ボヤ）現場にオートバイで駆け付ける途中、自家用車と接触し、消防団員1名殉職。
		建物火災	10月11日 花輪町東山で養畜舎1棟全焼。死者2名、負傷者1名、牛数十頭焼死、損害額7,063千円。

西 暦	年 号	種 別	記 録
1970	昭和45年	建物火災	9月16日 花輪町新町の醤油味噌醸造工場で工場、倉庫併せて3,260㎡全焼。損害額は100,000千円。
1971	昭和46年	建物火災	11月24日 花輪町谷地田町の下駄製造工場から出火。5棟1,150㎡全焼。
		建物火災	5月27日 小坂町尾樽部で住家5棟全焼。り災世帯5世帯、り災者22名、損害額22,460千円
		建物火災	5月29日 十和田町毛馬内下陣場で製材所(370㎡)1棟、住家2棟、非住家2棟全焼。
1972	昭和47年	水 害	7月8日から9日にかけて大雨のため、道路決壊21箇所、堤防決壊15箇所、田畑の流失、毛馬内下高田橋流失等の被害が発生する。
1973	昭和48年	建物火災	1月30日 八幡平松館で住家2棟全焼、住家1棟・非住家2棟半焼。損害額2,583千円
1974	昭和49年	雪 害	2月3日 前日からの大雪により八幡平地区で住家全壊2棟、半壊8棟、一部破損多数。
		交通事故	11月10日 秋季防火週間の初日、花輪地区消防団車両が不時演習への出動途上、国道282号の信号機のある交差点で大型トラックと衝突した。消防車は右側店舗に突っ込み、大型トラックは左側店舗に突っ込む。消防車に乗っていた消防団員13名は振り落とされて、死者3名、重傷者3名、軽傷者7名が発生した。
1975	昭和50年	労働災害	5月 花輪鉱山で落盤事故発生。死者1名。
		建物火災	6月10日 花輪古館で工場2棟、非住家1棟全焼、非住家1棟半焼。損害額4,700千円。
1976	昭和51年	建物火災	2月15日 大湯上ノ湯で旅館1棟(739㎡)全焼。負傷者3名、損害額8,644千円。(自動火災報知設備の警報ベルが作動したのに無視し、ベルを停止したもの。)
1977	昭和52年	労働災害	8月 尾去沢鉱山で落盤事故発生。死傷者2名。
		建物火災	2月6日 旧毛馬内小学校校舎1棟全焼。負傷者(団員)3名、焼失面積2,646㎡、損害額6,453千円。
1977	昭和52年	建物火災	4月22日 八幡平谷内で非住家5棟全焼。損害額3,897千円。
		建物火災	6月4日 花輪旭町で工場2棟、住家2棟、非住家2棟全焼。損害額12,496千円。
1978	昭和53年	建物火災	3月9日 花輪柴内の不動尊神社1棟全焼。
		建物火災	4月23日 八幡平碓で住家2棟全焼、1棟半焼。負傷者(消防職員)1名。損害額2,841千円。
1979	昭和54年	建物火災	9月22日 鉛山鉱山(株)大湯破碎場1棟全焼、負傷者(団員)1名。焼失面積643㎡、損害額8,964千円。原因は硫火鉱の自然発火。
		大 雨	3月31日 鹿角市全域暴風雨。土木施設33件、農林施設26件、文化施設11件、建物の破損80棟以上の被害。
		林野火災	5月6日 十和田山根地区で林野火災が発生。焼失面積2,396a。損害額18,574千円
1980	昭和55年	大 雨	4月6日 鹿角市全域の大雨及び融雪のため堤防決壊25件、道路決壊3件、家屋の一部破損2件、田圃の流失3町歩の被害。
		建物火災	6月12日 尾去沢鉱山(株)で選鉱所の一部焼失。焼失面積1,342㎡、損害額442千円
1981	昭和56年	台 風	8月23日 台風15号のため家屋全壊15棟、半壊10棟、一部破損100棟以上の被害。
1983	昭和58年	地 震	5月26日 日本海中部地震で震度4を記録。1日に数回の余震が続き、住家・水田・道路等に被害が出た。被害額200,000千円。
		車両火災	10月9日 早朝 花輪東山国有林地内で乗用車が焼失し、車内で親子4名が焼死。この年は計6名の焼死者が発生。

西 暦	年 号	種 別	記 録
1984	昭和59年	建物火災	4月20日 花輪葉ノ木谷地で住家全焼。死者1名、損害額15,245千円。
		建物火災	5月10日 毛馬内三の丸で住家全焼。死者1名、損害額2,008千円。
		建物火災	5月14日 花輪諏訪野で住家部分焼。死者1名、損害額260千円。
		建物火災	6月5日 花輪上中島で放火により住家半焼。死者1名、損害額589千円。
		建物火災	6月18日 八幡平谷内の寺院826㎡全焼、林野7a焼失。損害額64,476千円。
1985	昭和60年	建物火災	7月17日 八幡平湯瀬で住家全焼。死者2名、損害額2,344千円
1986	昭和61年	水 害	8月5日 台風10号による豪雨のため河川が増水、床下浸水住家2棟、非住家1棟、工場及び事務所各1棟の被害。通算雨量103.5mm
1987	昭和62年	建物火災	2月6日 尾去沢下モ平で住家1棟全焼。死者1名、損害額3,794千円。
1988	昭和63年	交通事故	1月31日 東北自動車道上り線588KP付近で普通乗用車に普通トラックが追突。重軽傷者3名、うち1名は五ノ宮橋から約14m下へ転落。
		建物火災	7月31日 花輪合ノ野で縫製工場全焼。損害額29,329千円。
		建物火災	9月22日 毛馬内中台地で住家部分焼。死者1名、損害額297千円。
1989	平成元年	建物火災	7月30日 花輪谷地中で牛舎全焼。牛17頭焼死、損害額14,741千円。原因は干し草の自然発火。
		建物火災	1月13日 花輪長野で住家全焼。死者1名、損害額5,020千円。
1990	平成2年	建物火災	12月28日 花輪下夕町で住家1棟全焼、1棟半焼。死者1名、損害額9,380千円。
1991	平成3年	台 風	9月28日未明、鹿角市内は台風19号の暴風圏内に入り、全域にわたり大きな被害を受ける。重軽傷者13名、住家被害826棟、被害額939,000千円。農産物被害額はリンゴを中心に2,595,000千円など、総被害額4,813,940千円。
		建物火災	11月20日 尾去沢中沢の寺院513㎡全焼。死者1名、損害額68,067千円。
1992	平成4年	火 災	鹿角市で5月16日から12月16日まで7ヶ月間の無火災を記録。年間火災件数も市発足以来最少の5件となる。
		建物火災	10月26日 小坂町尾樽部で住家3棟全焼。死者1名、り災世帯3世帯、り災者13名、損害額34,228千円。
1993	平成5年	建物火災	12月21日 錦木山谷で住家1棟全焼。死者1名、損害額9,026千円。
1994	平成6年	建物火災	10月27日 花輪荒屋敷で住家2棟全焼。死者1名、損害額13,956千円。
1995	平成7年	建物火災	1月10日 小坂町万谷で住家1棟全焼、死者1名、損害額20,003千円。
1996	平成8年	危険物漏洩	7月6日 八幡平湯瀬の危険物施設で軽油600ℓが米代川へ流出。
1997	平成9年	自然災害	5月11日 八幡平熊沢国有林地内で大規模な土砂災害が発生。澄川、赤川両温泉施設の合計16棟が流失する。人的被害なし。
1998	平成10年	建物火災	1月18日 毛馬内で建物火災。死者1名。
		建物火災	3月30日 八幡平大里で製材工場2棟半焼。
		建物火災	6月3日 花輪狐平で住家全焼。死者1名
		集団救急	8月3日 田沢湖町玉川温泉で集団食中毒が発生。52名を救急搬送。
		集団救急	9月10日 後生掛温泉で毒キノコによる食中毒が発生。9名を救急搬送。
2001	平成13年	林野火災	4月から5月にかけて、野焼き・枯れ草焼却の不始末による林野火災が10件発生。
2001	平成13年	建物火災	7月19日 草木砂派で牛舎全焼。牛20頭焼死、車両1台全焼。
2002	平成14年	建物火災	1月1日 花輪級ノ木で牛舎全焼。牛18頭焼死。
		建物火災	5月6日 尾去沢新堀市営住宅部分焼。
2004	平成16年	危険物漏洩	1月18日 小坂町尾樽部で工場から苛性ソーダが24㎡流出。原因は貯蔵タンクの腐食。
		建物火災	2月3日 花輪下花輪で住家2棟全焼、1棟半焼。
		建物火災	3月4日 尾去沢新堀で住家1棟全焼、車両1台全焼。死者1名
		建物火災	3月27日 花輪上台で非住家3棟全焼、非住家1棟半焼。
2005	平成17年	建物火災	2月7日 錦木冠田で住家全焼。死者2名
		建物火災	9月中に毛馬内押出で連続火災。住家1棟全焼、車両1台全焼。
		危険物漏洩	4月16日 尾去沢蟹沢の危険物施設で重油2,100ℓが米代川へ流出。

西 暦	年 号	種 別	記 録
2006	平成18年	建物火災	5月13日 毛馬内押出で住家1棟全焼。死者1名。
		建物火災	8月23日 小坂町尾樽部で工場火災。工場部分焼、損害額302,208千円。
		建物火災	10月25日 毛馬内鹿倉崎の環境衛生センターごみ処理場で爆発火災。負傷者無し、損害額21,000千円。
2007	平成19年	建物火災	12月9日 草木二本柳で住家1棟全焼。死者1名。
		集中豪雨	9月16日から17日にかけて、秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では降り始めからの総雨量が260mmに達し過去最高を観測。 鹿角市では避難勧告（377世帯1,175人）、避難指示（519世帯1,228人）。住家被害は住家半壊3棟、一部損壊1棟。床上浸水は住家9棟、非住家1棟。床下浸水は住家72棟、非住家30棟。農業被害は水田の流失・埋没21.6ha、冠水156ha。畑の流失・埋没2.5ha、冠水3.5ha。その他に水道66戸、農地・農業用施設220箇所、道路40箇所、橋りょう2箇所、河川46箇所など合わせて農林水産業施設815,800千円、公共土木施設374,215千円、農産物等被害42,895千円となり、総額1,232,910千円の被害を出す。人的被害なし。
2008	平成20年	林野火災	4月から5月にかけて林野火災が多発。特に4月5日は1日5件を記録する。
		建物火災	5月1日 八幡平谷内の製材工場で火災。製材工場、事務所、倉庫の3棟を全焼。損害額46,519千円。この火災で鹿角市消防団は28年ぶりとなる特命出動を発令。消防団員400名が出動する。
2009	平成21年	警 戒	4月5日 北朝鮮の飛翔体発射に係る特別警戒本部を設置。被害無し。
2010	平成22年	集中豪雨	7月29日から30日にかけて、秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では降り始めからの総雨量は157mmに達する。 鹿角市では、住家被害が床上浸水1棟、床下浸水15棟、農地・農業用施設71箇所、道路37箇所、河川13箇所の被害を出す。人的被害なし。
2011	平成23年	雪 害	1月1日 前日からの大雪で鹿角市十和田地区で倒木2件、溢水4件、小坂町で溢水3件発生する。倒木による交通障害なし。溢水により冠水及び床上・床下浸水したが実害なし。
		建物火災	1月3日 末広上屋布で住家1棟全焼。死者2名、負傷者4名、り災世帯1世帯り災者7名。
		地 震	3月11日 東北地方太平洋沖地震発生。鹿角市では震度4、小坂町では震度3を記録する。鹿角市は全域が停電となったが、人的被害、倒壊等の被害はなし。小坂町は小坂製錬及び関連建物以外が停電となったが、人的被害倒壊等の被害はなし。
		集中豪雨	8月17日 秋田県全域に大雨による被害が発生。降り始めからの総雨量は鹿角市123.5mm、小坂町97.5mm。住家被害は鹿角市で床上浸水1棟、床下浸水2棟、人的被害なし。小坂町で鉄砲水による住家1棟一部破損。り災世帯1世帯、り災者5名、人的被害なし。
2012	平成24年	暴 風	4月4日 強い寒気の影響による暴風で各地に被害が発生。被害状況は、鹿角市で住家7件、非住4件、倒木7件、信号機1件、電線・電柱2件、消防標識1件。小坂町で住家1件、倒木1件。人的被害なし。
		建物火災	4月19日 小坂町大稲坪で工場火災。クーリング棟及び物置小屋全焼。
		そ の 他	4月20日 八幡平クマ牧場で熊38頭の内、4頭が檻外へ脱走。飼育員2名が襲われ、2名とも社会死状態で発見される。脱走した熊4頭は、猟友会により射殺される。
		建物火災	5月10日 小坂町横道の町営住宅1棟全焼、1棟半焼。り災世帯1世帯、り災者3名。
		危険物漏洩	5月19日 小坂町大稲坪の工場より灯油12,000リットル流出。周囲への影響等なし。
		建物火災	8月6日 花輪級ノ木で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、り災者2名。
		建物火災	10月17日 花輪寺坂で住家1棟全焼。
		建物火災	12月26日 尾去沢新山で市営住宅1棟部分焼。り災者3世帯、り災者4名。

消防 鹿角

第33号 平成24年 秋冬号
編集・発行：鹿角広域行政組合消防本部・消防署
秋田県消防協会鹿角支部

鹿角広域行政組合消防本部管内
出動件数
平成24年1月～平成24年9月末
総出動件数 1,259件

①火災	19件
②救急	1,071件
③救助	41件
④自然災害	32件
⑤遭難捜索	16件
⑥その他	80件

平成24年度秋田県総合防災訓練 (詳細記事は裏面に)



写真 自主防災会バケツリレーによる消火訓練



秋の火災予防運動が始まります

これからの季節は、暖房器具などの火を使用する機会が多くなります。ちょっとした不注意で、思わぬ火災を引き起こすことがありますので火の取扱いには注意しましょう。

※火災予防週間中の7時と19時には、サイレン又は警鐘が鳴ります。

火災と間違わないようにご注意ください。

消防団による火災想定訓練が行われます。

- ①場所：鹿角市・花輪：級ノ木集落センター
八幡平：八幡平小学校
小坂町・川上公民館

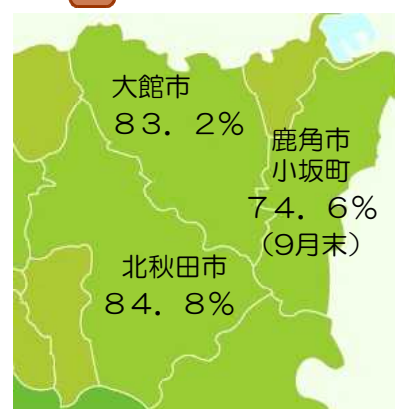
- ②日時：平成24年11月4日(日) 早朝

また、訓練後の午前中に消防車による防火パレードを行います。

全国統一防火標語 消すまでは 出ない行かない 離れない

火災予防週間
平成24年11月4日(日)
～11月10日(土)

住宅用火災警報器を設置しましょう



H24.6.1現在
全 国…77.5%

秋田県…75.8%

能代市…87.0%
(県内設置率No.1)

平成23年6月に設置が義務化されて1年以上たちますが、約25%のご家庭でまだ火災警報器の設置がされていません。

設置することで火災を早期に発見し、逃げ遅れを未然に防ぐことができます。設置されていないお宅は、早急に設置してください。

消防通信 龍吐水 りゅうどすい

インフルエンザに注意！

これからはインフルエンザが流行しやすい季節になります。次のことに注意して予防しましょう。

- ① 栄養と休養を十分取る。
- ② 人混みを避ける。
- ③ 適度な温度、湿度を保つ。
- ④ 外出後の手洗いとうがいの励行。
- ⑤ マスクを着用する。



インフルエンザは風邪とは違う感染症です。予防接種を受け、症状が出たら医師の診断を。

雪下ろし作業にご注意を！

安全な除雪作業をするために、次のことに注意しましょう

- ① 安全な服装で作業！
- ② 命綱・安全帯を正しく装着！
- ③ 2人以上で作業！
- ④ はしごはしっかり固定！
- ⑤ 足場には特に注意！
- ⑥ 屋根の雪のゆるみに注意！
- ⑦ 使いなれた除雪道具を使用！
- ⑧ 無理な作業は止めましょう！



消防署では自治会単位で命綱の結び方を指導しています。ご希望の自治会は消防署へご連絡ください。

災害情報メール配信しています

鹿角市、小坂町で発生した災害情報を携帯電話やパソコンにeメールで配信しています。

登録のしかたは市・町のメールアドレスへ空メールを送信するだけ！
返信されたメールに記載されたURLへ接続し、希望する情報をチェックし、登録完了です。
氏名や連絡先を入力する必要はありません。
右のQRコードでもURLを取得できます。

詳しくは、鹿角市・小坂町のホームページをご覧ください。

- ・消防団員の方は消防署でも登録できます。
- ※消防団員の方が登録する際は、消防署へご連絡下さい。

情報配信メール登録用eメールアドレス

鹿角市：e-kazuno@xpressmail.jp 小坂町：e-kosaka@xpressmail.jp

メール登録用QRコード

鹿角市



小坂町



火災・救急は119番へ!!

★消防本部が知りたい 4つのポイント★

1. 火事ですか？救急ですか？

まずあわてずに、火事か救急かを言って下さい。



2. 住所はどこですか？

わからない場合は、目標となる建物や交差点、橋などを言って下さい。

3. 誰が(何が)どうしましたか？

急病、けがなど、具体的にはっきりと言って下さい。



4. あなたの名前と電話番号は？

状況確認のため、消防署から電話をかけなおすこともあります。

119番へ通報することにより、一般電話で通報するよりも迅速な対応が可能です。また、一般電話は話し中になる場合がありますが、119番は通報が重なっても対応することができます。
火災等の問い合わせは23-5601へ。

消火器の事故防止！

近年、長期間放置されて腐食した消火器の破裂によるケガや死亡事故が発生しています。

消火器は非常に高い圧力で消火薬剤を押し出す仕組みとなっています。

サビ等が発生した場合、圧力に耐えきれず破裂する恐れがあります。



消火器にサビやキズ、変形がある場合、大変危険ですので絶対に使用しないでください。

確認！



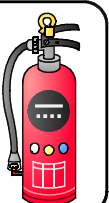
古い消火器の廃棄方法 Q&A

Q：どう処分すればいいのですか？

A：消火器は一般家庭ゴミとしては回収に出すことは出来ません。消火器取扱い業者に廃棄処分の依頼が必要です。

Q：廃棄料金はかかるのですか？

A：原則として廃棄費用がかかります。種類によっても金額が異なりますので、取扱い業者にお問い合わせください。



その他不明な点は消防署へ
お問い合わせください。

注意

『暖房器具』

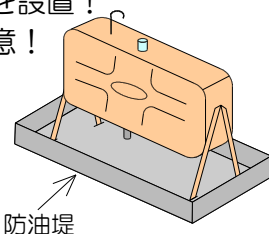
- ①火のついたまま給油をしない！
- ②就寝時、外出時は火を消す！
- ③ストーブのそばで遊ばない！
- ④ストーブの上に洗濯物を干さない！
- ⑤火をつけたままストーブを動かさない！
- ⑥地震の時は、揺れがおさまってから火を消す！



※毎年、暖房器具による火災が発生しています。
十分注意して使用しましょう。

『ホームタンク』

- ①器具、配管に腐食や亀裂がないか確認！
- ②小分けする際はその場を離れない！
- ③漏れたときに備え、防油堤を設置！
- ④除雪や落雪による破損に注意！
- ⑤バルブの閉め忘れに注意！



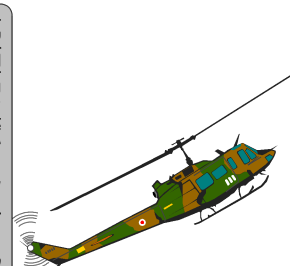
※漏れてしまったらすぐに
消防署へ連絡！

平成24年度秋田県総合防災訓練

「平成24年度秋田県総合防災訓練」が8月30日に鹿角市を主会場に開催されました。市内の民間企業や学校、秋田県警や自衛隊などの多数の機関が訓練に参加して様々な訓練を実施しました。



花輪高生ボランティアによる応急救護訓練
(けが人役は尾去沢中生徒)



航空自衛隊によるけが人の吊り上げ救助訓練

列車事故対応訓練に到着し打合せをする
秋田DMAT（災害派遣医療チーム）



陸上自衛隊による孤立集落救出訓練
(尾去沢蟹沢から米代川を横断)



鹿角市消防団員による危険物施設
火災防ぎょ訓練



消防署救助隊と秋田県警機動隊による
多重衝突事故救助訓練

秋田県総合防災訓練に参加して

実際に災害を想定した中でのレポートや放送は想像以上に難しく、様々な課題が発見され、とてもいい経験の場となりました。

災害が発生しなければ一番いいのですが、「イザ」というときはこの経験を活かしていきたいと思います。

鹿角コミュニティFM開局準備チーム 安保 朗 さん



消防 鹿角

第34号 平成25年 春夏季号
編集・発行：鹿角広域行政組合消防本部・消防署
秋田県消防協会鹿角支部

鹿角広域行政組合消防本部管内
出動件数
平成24年1月～平成24年12月末
総出動件数 1688件

①火災	13件
②救急	1426件
③救助	33件
④自然災害	47件
⑤遭難捜索	19件
⑥その他	150件

除雪ボランティア 花輪第一中学校生徒



春の火災予防運動が始まります

暖かくなってくる4月、火の取扱いに対する注意心が緩みがちになります。また、春先のこの時季は、空気が乾燥し風の強い日が多いことから火災が発生しやすくなっています。火の取扱いには十分注意しましょう。

※火災予防週間中の7時と19時には、サイレン又は警鐘が鳴ります。

火災と間違わないようにご注意ください。

消防団による火災想定訓練が行われます。

①場所：鹿角市・鹿角市役所周辺

小坂町・康楽館

②日時：平成25年4月7日（日）

鹿角市・6時

小坂町・5時30分

また、訓練後の午前中に消防車による防火パレードを行います。

全国統一防火標語 消すまでは 出ない行かない 離れない

火災予防週間
平成25年4月7日（日）
～4月13日（土）

火災・救急は119番へ!!

消防立入検査(査察)について!

消防法令に基づいて事業所（旅館、ホテル、店舗、飲食店、病院、学校、工場など）や、危険物施設等（ガソリンスタンドなど）に立ち入り、消防用設備（消火器、誘導灯、自動火災報知設備、避難器具など）及び防火管理の状況について、火災予防上必要な指導を行っています。

また、一般住宅の防火対策の一環として、一人暮らし・高齢者世帯の防火指導を行い出火防止の推進を図っています。

これからも、防火指導に努め、皆さんと一体となって「火災の無いまちづくり」に努めていきますのでご協力をお願いします。

消防通信 龍吐水 りゅうどすい

資機材搬送車配備!



運用目的

- ・災害現場への資機材搬送や撤収時の資機材を回収。・災害現場での災害対策本部、後方支援活動。
- ・緊急援助隊派遣先での後方支援活動、作戦及び部隊調整。・多数傷病者発生時の一時救護所。

災害情報メール配信しています

鹿角市、小坂町で発生した災害情報を携帯電話やパソコンにeメールで配信しています。

登録のしかたは市・町のメールアドレスへ空メールを送信するだけ!

返信されたメールに記載されたURLへ接続し、希望する情報をチェックし、登録完了です。

氏名や連絡先を入力する必要はありません。

右のQRコードでもURLを取得できます。

詳しくは、鹿角市・小坂町のホームページをご覧ください。

・消防団員の方は消防署でも登録できます。

※消防団員の方が登録する際は、消防署へご連絡下さい。

情報配信メール登録用eメールアドレス

鹿角市：e-kazuno@xpressmail.jp 小坂町：e-kosaka@xpressmail.jp

メール登録用QRコード

鹿角市



小坂町



第12回消防団幹部候補中央特別研修

鹿角市消防団 団本部 班長 安保千夏

平成25年2月13～15日にかけて行われた「第12回消防団幹部候補中央特別研修」に鹿角市消防団の女性団員として初めて参加させていただきました。研修では、消防団活動に関わる様々な事を学びながら、他地域の女性団員との情報交換を行いました。どこの女性消防団員も男性団員に負けないくらい活発に活動していることが分かり、「鹿角市の女性団員もがんばらなきゃいけない！」と気が引き締まりました。

消防団員が習得する応急手当や防災に関する知識はいつか必ず誰かを救います。

一緒に誰かを救いませんか？
「鹿角市にお住まいの皆さん、
入団をお待ちしております。」



研修風景

・応急手当
(AEDトレーニング)



安保千夏さん（写真中央）

救命講習が 新しくなりました。

① 心肺蘇生法の手順

より胸骨圧迫を重視した内容になりました。

② 救命入門コースの追加

内容： 成人の心肺蘇生法とAEDの取扱いを中心に勉強します。おおむね10歳以上が対象で、参加者には、参加証を配布します。

時間：90分

③ 応急手当WEB講習の開始

内容： 応急手当全般を勉強します。こちらは講習を受けに行く時間が無い方にオススメです。インターネット環境さえあれば、パソコンやスマートフォンを使って動画や画像を見ながら問題に答えていき、最後のテストに合格すると、受講証明書を印刷することが出来ます。

時間：約1時間で終わります。

④ 普通救命講習Ⅲの追加

内容： 新生児から小児までの応急手当を中心に勉強します。小さなお子さんと接することが多い方にオススメです。修了証も配布します。

時間：3時間

さらに

救命入門コースとWEB講習だけでは不安という方は、追加で2時間、実技を中心とした講習を受けると、普通救命講習Ⅰの修了証がもらえます。

ただし、救命入門コースは参加証配布から1年以内、WEB講習は証明書印刷から1ヶ月以内に受講して下さい。 お問い合わせは消防署まで！

大切な家族の命を守るため
あなたの命を守るため
財産を守るため
地域の安心安全のために
必ず設置しましょう。

住宅用火災警報器は平成23年6月1日をもって全ての住宅に設置が義務付けられました！

住宅用火災警報器の電池の寿命は製品によって異なりますが、5～10年とされています。早期に設置されたお宅は製品によっては電池切れの恐れがあります。電池切れになった際はアラームで知らせますので、新しい警報器または、電池を交換してください。



ピッ ピッ ピッ
電池切れです

『今年の夏は・・・。』

夏といえば、楽しいことがいっぱいです。しかし、楽しいことばかりではありません。夏といえば、熱中症や水難事故などが多くなる季節です。何を気をつけるべきか、もう一度確認しましょう。

◆熱中症は、炎天下、高温多湿の中での作業や運動中になりやすい、身体の障害です。

『症状は？』

・発汗、めまい、吐き気や嘔吐、部分的なけいれん、頭痛、腹痛、疲労感、興奮、皮膚の蒼白などが主な症状。さらに状態が悪くなると、40℃以上の高熱や意識障害、皮膚が乾燥し赤く熱くなる、呼吸や脈が早くなる、下痢、血圧の低下などの症状が起こる。

『やるべき応急手当は？』

・涼しいところで安静にする。・水分補給（スポーツドリンクや水500mlに食塩5gを溶かした食塩水）
・濡らしたタオルやガーゼを皮膚に付けて、扇風機などで送風する。・119番通報する。

『注意することは？』

・夏は熱中症になると思って行動する！・水だけを補給しない。スポーツドリンクなどにする。
・様々な症状があるが、夏の運動中や外での作業中に具合が悪くなったらず熱中症を疑いましょう。
・体温が下がる場合もある。・子供の車内放置をしない。・家の中でもなる。・死亡することもある。

◆水難事故は、河川や湖、用水路などが主な発生場所ですが、海での事故も同様に多発する時期です。

『注意点』

・水に溺れる事故は、子供の死亡原因の上位です。・子供は10cmの深さがあれば、溺れます！
・酔った勢いで川に入らない！・1人では、泳いで助けに行かない！ロープや浮き輪を投げる。
・天候が悪くなってきたら、すぐ水辺から離れる！

⚠山火事に注意

空気が乾燥し風が強くなるこの時季、山火事に特に注意が必要です。山火事は火の粉が広範囲に広がるため延焼スピードが速く消火活動が大変困難となります。次のことに注意し火事を起こさないようにしましょう。

- ◆枯れ草等のある火災の起こりやすい場所で、たき火はしないこと。
- ◆たき火から離れる時は、完全に火を消すこと。
- ◆強風・乾燥時は、たき火・火入れはしないこと。
- ◆タバコの吸い殻は、必ず消して始末し、ポイ捨てはしないこと。
- ◆火遊びはしない、させないこと。



※あなたのちょっとした不注意により大切な自然が焼き尽くされることのないよう
一人一人が気を付けましょう！！

遭難に注意⚠

山菜採りによる山での遭難が毎年発生しています。絶対に迷わないという過信は持たず以下のことに注意しましょう。

昨年の遭難捜索件数：19件

<入山前>

- ◆家族に行き先や帰宅時間を伝える。
- ◆事前に天候を確認し、悪天候時は入らない。
- ◆目立つ服装をし、寒さ対策を万全にする。（白い服装が目立ちます！！）

- ◆水や食料、持病の薬を持つ。
- ◆携帯電話、ライター、発煙筒などを持つ。
- ◆クマ対策をする。（鈴、笛、ラジオなど）

<入山時>

- ◆一人では、山に入らない。
- ◆仲間同士で、声を掛け合いながら行動する。
- ◆自分の体力や体調に合わせ無理はしない。
- ◆危険な場所は避け、日没前に下山する。
- ◆迷ったら動き回らず、落ち着いて行動する。



編集・発行 **鹿角広域行政組合消防本部**

〒018-5201

秋田県鹿角市花輪字高井田64番地2

TEL 0186-23-5601 (代表)

FAX 0186-23-5605 (消防本部)

0186-23-5603 (消 防 署)

E-MAIL info@fdkazuno.jp

ホームページアドレス <http://www.fdkazuno.jp>

携帯電話用災害情報サイト <http://www.fdkazuno.jp/keitai>
